



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成23年6月調査分)

	平成22年12月	平成23年6月	前回調査比
茨城県	46.3	35.1	△11.2
県北地域	50.4	31.8	△18.6
県央地域	44.2	35.9	△8.3
鹿行地域	46.4	38.6	△7.8
県南地域	48.2	34.5	△13.7
県西地域	42.5	34.5	△8.0

《景気の先行き判断DI》

	平成22年12月	平成23年6月	前回調査比
茨城県	43.7	41.5	△2.2
県北地域	40.9	39.5	△1.4
県央地域	45.4	37.3	△8.1
鹿行地域	41.1	41.8	+0.7
県南地域	47.7	46.8	△0.9
県西地域	43.4	42.3	△1.1

平成23年7月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成23年6月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客数】

業種名	具体例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	39	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	18	16	16	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	5	5	5	5	5	25

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成23年6月調査の調査期間は平成23年6月1日から平成23年6月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは35.1となった。12月調査分より11.2ポイント低下し、横ばいを表す50を15期連続で下回った。

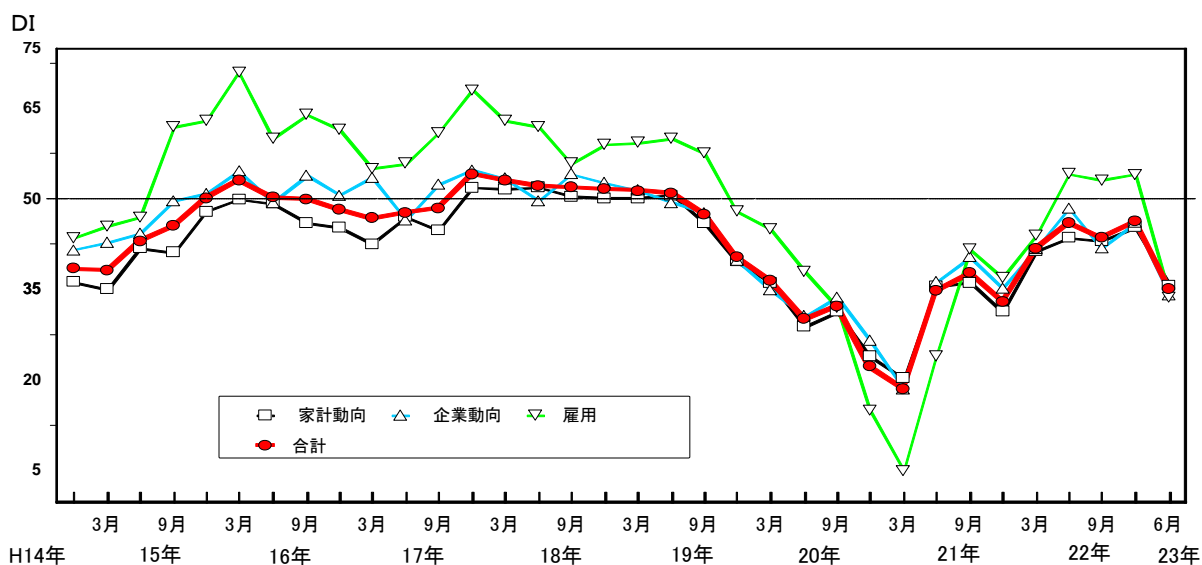
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		41.8	46.0	43.6	46.3	35.1
家計動向関連		41.4	43.6	43.1	45.4	35.7
小売関連		38.0	44.0	49.0	49.0	38.2
飲食関連		42.5	47.2	40.0	40.3	48.4
サービス関連		42.7	41.2	36.9	42.6	31.5
住宅関連		55.6	52.8	58.3	50.0	30.6
企業動向関連		41.8	48.5	41.9	46.1	34.1
農林水産業		43.8	46.4	42.9	53.6	15.6
製造業		41.8	48.3	40.6	42.8	35.7
非製造業		41.1	49.2	43.5	49.2	36.7
雇用関連		44.0	54.2	53.1	54.0	33.7

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	1.8%	9.6%	52.1%	27.0%	9.6%
平成22年 6月	1.5%	19.0%	50.4%	20.4%	8.8%
平成22年 9月	1.7%	15.8%	47.3%	25.7%	9.6%
平成22年 12月	2.8%	19.2%	47.9%	20.6%	9.4%
平成23年 6月	2.9%	18.2%	22.5%	29.1%	27.3%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは41.5となった。12月調査分より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

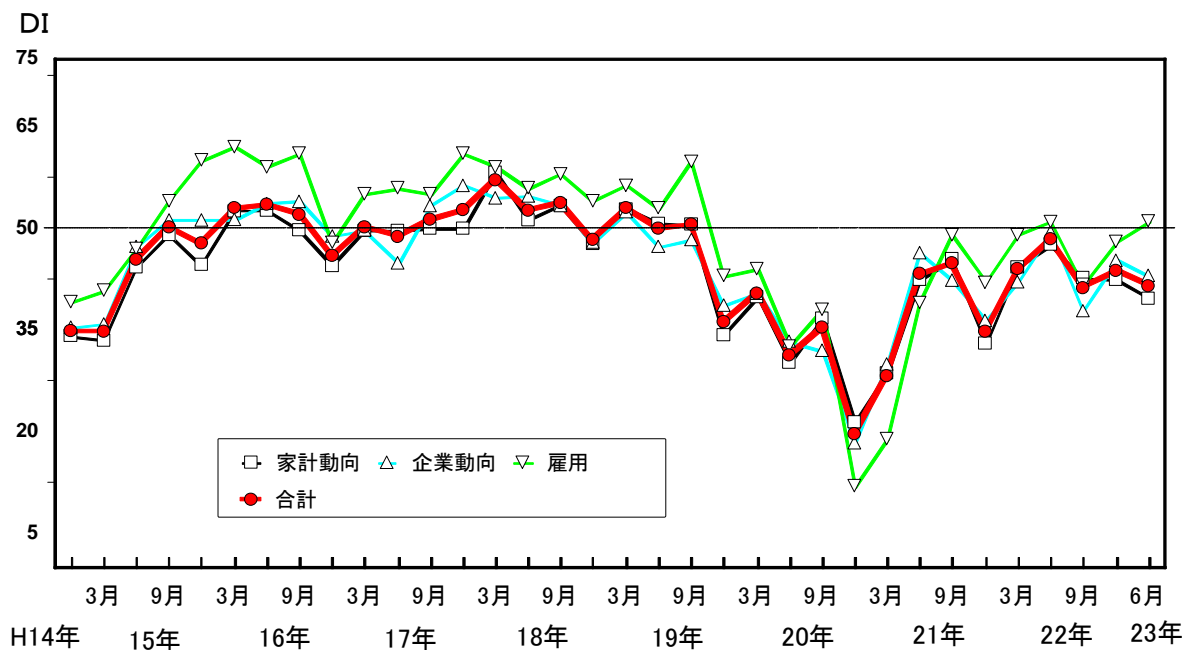
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月	平成23年 6月
合計		44.0	48.4	41.2	43.7	41.5
家計動向関連		44.2	47.6	42.7	42.4	39.6
小売関連		43.3	48.1	39.4	43.8	38.6
飲食関連		47.5	51.4	47.5	41.7	51.6
サービス関連		43.4	45.3	43.1	40.4	37.3
住宅関連		50.0	55.6	55.6	50.0	44.4
企業動向関連		42.1	49.4	37.8	45.2	43.0
農林水産業		43.8	57.1	46.4	50.0	31.3
製造業		40.2	47.8	33.3	43.9	43.5
非製造業		44.4	50.0	42.7	46.0	45.3
雇用関連		49.0	51.0	41.7	48.0	51.1

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.4%	12.1%	58.2%	22.0%	7.4%
平成22年 6月	0.7%	19.3%	57.3%	18.2%	4.4%
平成22年 9月	1.0%	7.5%	55.8%	26.4%	9.2%
平成22年 12月	0.3%	13.3%	57.0%	19.6%	9.8%
平成23年 6月	2.9%	19.2%	35.1%	4.0%	16.3%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは31.8となった。12月調査分より18.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		40.2	46.1	42.5	50.4	31.8
	家計動向関連	39.4	45.0	37.8	48.6	30.0
	企業動向関連	40.3	44.4	47.2	52.8	38.3
	雇用関連	45.0	60.0	60.0	55.0	25.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	3.6%	3.6%	53.6%	28.6%	10.7%
平成22年 6月	1.7%	24.1%	44.8%	15.5%	13.8%
平成22年 9月	5.0%	13.3%	40.0%	30.0%	11.7%
平成22年 12月	5.2%	25.9%	43.1%	17.2%	8.6%
平成23年 6月	3.6%	18.2%	9.1%	40.0%	29.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは35.9となった。12月調査分より8.3ポイント低下し、横ばいを表す50を15期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		42.4	47.0	42.1	44.2	35.9
	家計動向関連	44.1	44.6	44.9	43.6	37.1
	企業動向関連	40.6	53.1	32.8	42.2	31.3
	雇用関連	35.0	45.0	50.0	55.0	43.8

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	1.7%	10.2%	50.8%	30.5%	6.8%
平成22年 6月	3.4%	20.7%	44.8%	22.4%	8.6%
平成22年 9月	0.0%	18.3%	45.0%	23.3%	13.3%
平成22年 12月	1.7%	18.3%	45.0%	25.0%	10.0%
平成23年 6月	3.6%	21.8%	20.0%	23.6%	30.9%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは38.6となった。12月調査分より7.8ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		38.4	45.5	41.7	46.4	38.6
家計動向関連		38.5	42.1	43.2	41.9	41.9
企業動向関連		35.9	50.0	36.7	57.1	35.3
雇用関連		45.0	55.0	45.0	50.0	25.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.0%	12.1%	44.8%	27.6%	15.5%
平成22年 6月	0.0%	20.0%	50.9%	20.0%	9.1%
平成22年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	21.1%	12.3%
平成22年 12月	1.8%	19.6%	55.4%	8.9%	14.3%
平成23年 6月	3.6%	20.0%	25.5%	29.1%	21.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは34.5となった。12月調査分より13.7ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		44.4	45.5	48.7	48.2	34.5
家計動向関連		39.8	42.5	49.3	49.2	34.8
企業動向関連		50.0	48.4	47.2	44.1	35.3
雇用関連		55.0	56.3	50.0	55.0	30.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	1.9%	7.4%	63.0%	22.2%	5.6%
平成22年 6月	2.0%	12.0%	56.0%	26.0%	4.0%
平成22年 9月	3.4%	19.0%	50.0%	24.1%	3.4%
平成22年 12月	3.6%	18.2%	49.1%	25.5%	3.6%
平成23年 6月	3.6%	10.9%	30.9%	29.1%	25.5%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは34.5となった。12月調査分より8.0ポイント低下し、横ばいを表す50を15期連続で下回った。

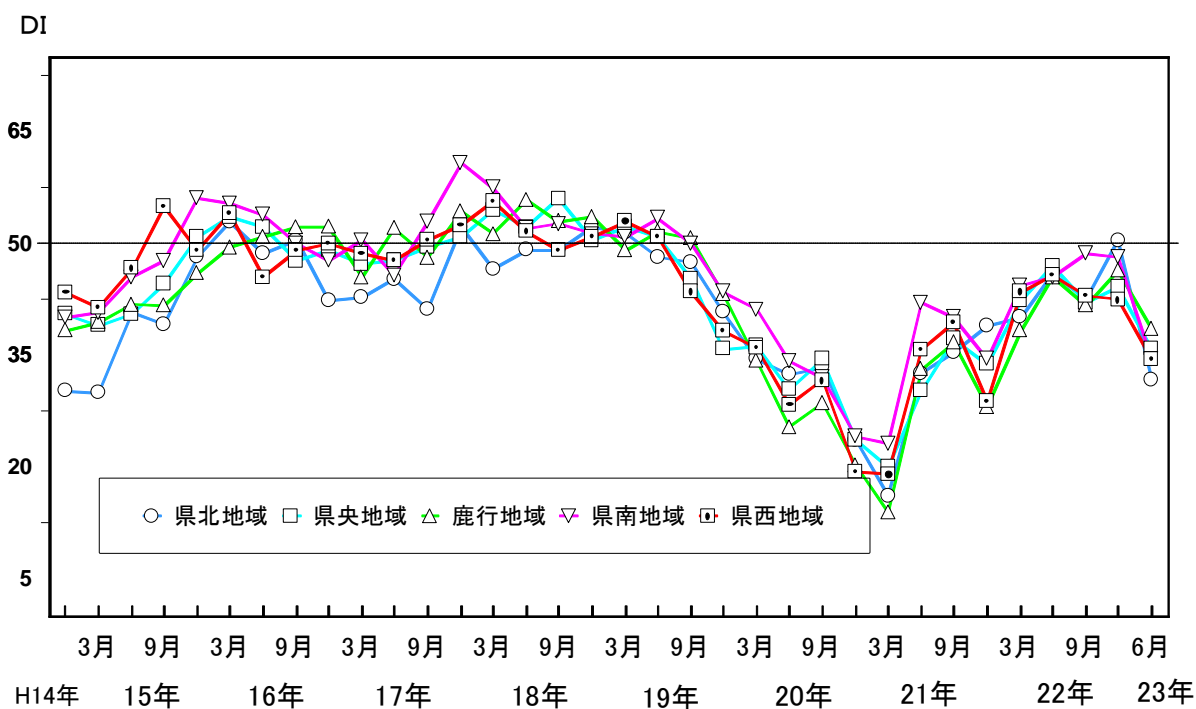
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		43.6	45.8	43.0	42.5	34.5
家計動向関連		45.3	43.5	40.4	44.1	34.4
企業動向関連		41.7	47.1	43.4	36.1	31.9
雇用関連		40.0	55.0	62.5	55.0	45.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	1.8%	14.5%	49.1%	25.5%	9.1%
平成22年 6月	0.0%	17.0%	56.6%	18.9%	7.5%
平成22年 9月	0.0%	15.8%	47.4%	29.8%	7.0%
平成22年 12月	1.8%	14.0%	47.4%	26.3%	10.5%
平成23年 6月	0.0%	20.0%	27.3%	23.6%	29.1%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは39.5となった。12月調査分より1.4ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月	平成23年 6月
合 計	40.2	46.6	40.8	40.9	39.5
家計動向関連	39.4	45.0	41.2	37.9	35.7
企業動向関連	40.3	47.2	38.9	44.4	41.7
雇 用 関 連	45.0	55.0	45.0	50.0	60.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.0%	8.9%	53.6%	26.8%	10.7%
平成22年 6月	1.7%	17.2%	51.7%	24.1%	5.2%
平成22年 9月	3.3%	5.0%	50.0%	35.0%	6.7%
平成22年12月	0.0%	6.9%	60.3%	22.4%	10.3%
平成23年 6月	3.6%	16.4%	34.5%	25.5%	20.0%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは37.3となった。12月調査分より8.1ポイント低下し、横ばいを表す50を15期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月	平成23年 6月
合 計	47.0	49.1	40.4	45.4	37.3
家計動向関連	48.7	50.0	42.9	44.9	35.7
企業動向関連	48.4	50.0	37.5	46.9	40.6
雇 用 関 連	30.0	40.0	30.0	45.0	37.5

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.0%	16.9%	59.3%	18.6%	5.1%
平成22年 6月	0.0%	24.1%	55.2%	13.8%	6.9%
平成22年 9月	0.0%	10.0%	55.0%	21.7%	13.3%
平成22年12月	0.0%	15.0%	60.0%	16.7%	8.3%
平成23年 6月	3.6%	18.2%	23.6%	32.7%	21.8%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは41.8となった。12月調査分より0.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		43.1	47.3	41.2	41.1	41.8
	家計動向関連	41.9	46.4	41.9	37.2	40.4
	企業動向関連	43.8	45.0	35.0	46.4	45.6
	雇用関連	50.0	60.0	55.0	55.0	37.5

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.0%	12.1%	58.6%	19.0%	10.3%
平成22年 6月	0.0%	16.4%	61.8%	16.4%	5.5%
平成22年 9月	0.0%	5.3%	64.9%	19.3%	10.5%
平成22年 12月	0.0%	14.3%	48.2%	25.0%	12.5%
平成23年 6月	3.6%	17.9%	37.5%	23.2%	17.9%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは46.8となった。12月調査分より0.9ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		45.4	49.5	44.4	47.7	46.8
	家計動向関連	43.0	49.2	45.7	50.0	47.7
	企業動向関連	44.1	50.0	43.1	44.1	45.6
	雇用関連	65.0	50.0	40.0	45.0	45.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	1.9%	11.1%	61.1%	18.5%	7.4%
平成22年 6月	2.0%	16.0%	62.0%	18.0%	2.0%
平成22年 9月	1.7%	8.6%	58.6%	27.6%	3.4%
平成22年 12月	1.8%	16.4%	60.0%	14.5%	7.3%
平成23年 6月	1.8%	21.8%	47.3%	20.0%	9.1%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは42.3となった。12月調査分より1.1ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

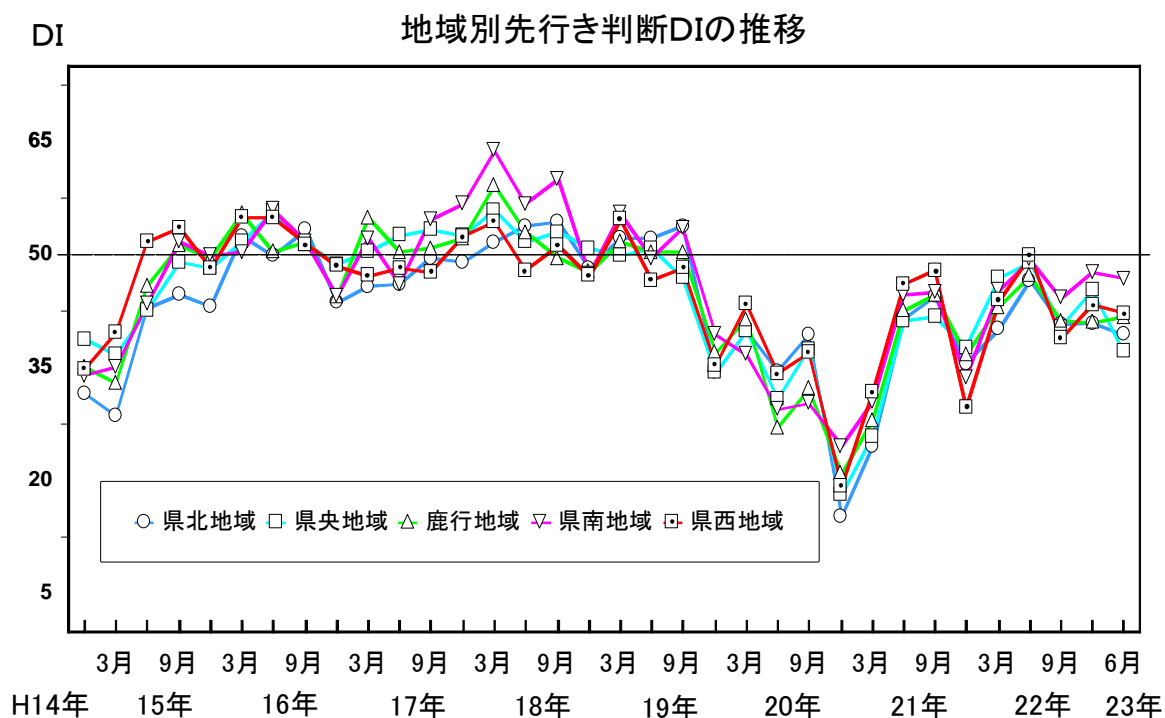
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年	平成23年
		3月	6月	9月	12月	6月
合計		44.1	50.0	39.0	43.4	42.3
家計動向関連		47.7	47.6	41.9	42.6	38.3
企業動向関連		34.7	54.4	34.2	44.4	41.7
雇用関連		55.0	50.0	37.5	45.0	70.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成22年 3月	0.0%	10.9%	58.2%	27.3%	3.6%
平成22年 6月	0.0%	22.6%	56.6%	18.9%	1.9%
平成22年 9月	0.0%	8.8%	50.9%	28.1%	12.3%
平成22年 12月	0.0%	14.0%	56.1%	19.3%	10.5%
平成23年 6月	1.8%	21.8%	32.7%	30.9%	12.7%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	275 人	91.7%
県北地域	60 人	55 人	91.7%
県中央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	55 人	91.7%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	55 人	91.7%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	企業	製造業（電気機械器具）	生産活動が再開でき、製造現場の作業量が増加しているため。
		運輸業	東日本大震災の影響で、復興・復旧資材の輸送が増えてきています。また、本県、または東北各県の港湾設備等が使用できなくなった為、京浜港からの輸送に切り替わり、輸送距離が伸びた分、車両の手配が追いつかなくなっております。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	東日本大震災の復旧工事が行われ、顧客である建設業の仕事が増えたため。
		コンビニエンスストア	東日本大震災後より、客数・買上点数ともに大幅に伸張してきている。3か月が経過した直近においてもその傾向は続いており、コンビニエンスストア視点だけで見れば景気は良くなっていると判断します。特に弁当、麺類などの食品、タバコが堅調。
		小売業（靴製品）	東日本大震災以降、客数が微増の感あり。商品はビジネスフォーマルが減。カジュアルな靴、運動靴などが売れている。
		和食食堂	3月は、例年職場の「歓送迎会」で一杯になるのですが、東日本大震災でキャンセルが多く、大打撃を受けました。5月は例年あまり良くないのですが、3月4月のキャンセルの宴会が少し戻って来て、3月より少し増えました。
		観光型ホテル	東日本大震災から3か月がたち、やや経済が流通しはじめた為かと思う。
		観光型ホテル	東日本大震災後、休業をしており、ゴールデンウィークより営業を再開したため、3ヶ月前と比較すると、「やや良くなっている」と思う。ただし、前年周期と比較した場合は、宿泊者数、日帰り利用者数とも大幅に落ち込んでいる。
		ボウリング場	（競合する）ボウリング場が1店休業しているため、売上が上がっている。また、利用しているお客様が仕事が忙しいと言っている。
		クリーニング店	3/11の震災後は、客単価と客数ともに大きく減少していましたが、やっと客数が戻りつつある。（前年との比較ではマイナス）
変わらない	企業	製造業（精密機器）	当社の仕事が増えている。仲間も増えていると言っている。
		製造業（電気機械器具）	震災後、約2.5か月経過しました。業種別に震災対策品として当社製品も、多少受注増になっています。
変わらない	家計	小売業（工具）	震災後約1か月間は、受注は大幅に減少したがその後、震災関連の需要が出てきた。通常の需要も出てきたので、合わせて変化なしとみている。
		金物・荒物・建築資材	災害で建築業全体がうるおっていると思う。
		ドライブイン	東日本大震災以来、観光で訪れる、動くお客様は、去年度同時期と比較しても2割減少。（売上&客数）まだ2割は良い方なので、営業できるだけ有難いと思う。
変わらない	企業	不動産業	東日本大震災に伴う建替えリフォームの需要はあるものの、収まらない余震や部材調達の不確定部分もありブレーキが掛かっている状況。
		雇用	公共職業安定所 ・震災直後から見ると、回復してきている感がある。 ・おおむね、震災前に戻ったイメージである。
やや悪くなっている	家計	スーパー	夜間の客数減少。
		スーパー	3～4月は競合店が休んでいたため、（水、米、その他の食品類の）お客様の買いだめによる売り上げが多かった。今は普通に戻っている。
		スーパー	震災後一段落しても、今後の景気悪化の予想が心理的に節約に向いている。来店客数は変化ないが、買上点数は減少している。（1点単価が高くなっているため売上は微増）。チラシの効果で客が動く傾向は強くなっている。
		コンビニエンスストア	震災直後は、モノ不足から消費は活発であったものの、観光・行楽の減少から売上が低下しておりGWも例年と比べ厳しい状況であった。
		小売業（酒類）	震災後一時的に売上げ伸びたが、近隣のスーパー、コンビニエンスストアの休店や、商品不足によるものであり、景気は良くなっているとは思えない。飲食店も震災後客が戻らない。
		レストラン	お客様の足も遠のき、皆様の話から。
		旅行代理店	原発風評で茨城県内の視察者・団体のキャンセルが止まらない。
		タクシー運転手	東日本大震災の影響により、飲食店の受注が減少している。
		タクシー運転手	東日本大震災の影響で全体的に自粛している。
		タクシー運転手	3月にあった東日本大震災により、お客様が減った感じです。地元企業（日立製作所）にくる来客も、3月～4月はほとんどきていない感じだったため、タクシー利用も激減した感じです。
		理・美容店	震災当時は避難所生活の方が多く精神的に落ち込んでいた。

て い る	企業	林業関係者	災害、風評被害等がありました。景気に関してはそのかわり大きく変化はしていません。ただ、自粛ムードは感じます。
		製造業（一般機械器具）	東日本大震災の影響により受注等が減少している。
		製造業（電気機械器具）	東日本大震災による影響を受けた。
		製造業（電気機械器具）	東日本大震災、又福島原発などの被害が大きく未だに週3日位しか仕事をしていない会社があります。特に自動車関係の会社が大変なようです。職種によっては忙しい会社もあるようですがこれも一時的でしょう。
		製造業（電気機械器具）	東日本大震災後に一転して生産計画が崩れた。
		建設業	東日本大震災後、忙しい状態が続いている。お客様は余震や原発事故の不安から前向きではない。
		情報通信業（情報サービス業）	東日本大震災の影響か、新規の商談がまったく無い。
雇用	運輸付帯サービス業	震災復興対策の事業（スポット発注）が一段落した事もあり、受注量が減少した。又、メーカーの生産立上げが、充分でなく、製品の輸送量が従前より少ない。	
	学校就業関係者	東日本大震災の影響がでており、就職等の状況を見てみると景気については悪くなっている。	
	求人開拓員	東日本大震災の影響で資材・部品が入らず、生産が出来ない状態が続く厳しい。	
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	地震、原発等による風評及び消費マインドの減退。
		衣料品販売店	東日本大震災の影響が大きい。
		自動車販売店	東日本大震災の影響がかなり大きいと思います。余震への不安、原発への不安、風評被害もあり、消費者の購買意欲が低下している。
		小売業（水産物）	・東日本大震災後の来客者の激減。他県の車ナンバーの激減。 ・福島原発による風評被害。
		スナック	私の住む町は震災の被害が大きくて、解体する家もすごい数です。私自身の家も瓦が100枚以上落ちて、家の中店の中もめちゃめちゃです。元の生活に戻るのには相当の時間を要すると思うからです。
		民宿	今年は特別で、東日本大震災によりレジャーや飲食の自粛、そして福島第一原発の事故の影響により観光などのお客様の足がこちらの方面に向かないと言ったことが起こっています。6月くらいまでは、災害復興などの仕事で長期滞在しているお客様が宿泊しておりますが、それも一時しのぎにすぎません。4月・5月の売り上げは昨年並みになると思われますが、景気が変わらないのとは違う！先行きは不安である。
		タクシー運転手	震災後、工場が止まってしまい、客数がへってしまった。
		ゴルフ場	震災前との比較をすればやはり悪くなっていると感じる。6月に入り、県内の顧客は回復傾向にあるが首都圏からの来場には回復の兆しが無い。原発事故を懸念する声が多すぎる。
		ゴルフ場	①1～3月時に比較して、4～6月の営業来場者は-20ポイント悪い。 ②3/11大地震、その後の風評被害が大きい。 ③自粛ムードやや軟化するも、被災復旧、復興が顕在化する。
		レジャー施設	東日本大震災後、特に消費者の購買意欲が低迷しており、客単価の低下に歯止めがかからない状況であるため。
住宅販売会社	震災と原子力の風評被害で来場がダウン。		
企業	水産業関係者	茨城の水産関係者は、漁民、加工業者共々未曾有の震災に加え原発事故により生産が出来ず、不景気の真ただただ中に有ります。	
	製造業（電気機械器具）	原子力関連の仕事の注文キャンセルや計画延期により、受注・作業量が極端に減少した。	
	製造業（製缶）	3月11日の東日本大震災により地元企業の工場が被災し、一時完全に稼働が停止、その後、順次電気、燃料供給が開始されるも工場内の片付け、修繕により現在も完全稼働までに至っていない状況にある。その為、下請企業への発注が回復しておらず売上が低迷、今後の見通しも不透明な為、融資条件変更の申し込みや元金据え置き運転資金の相談が増加している。	
雇用	求人広告	東日本大震災の影響。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	東日本大震災による損保会社の調査の仕事が入り、被害を受けた方には申し訳ありませんが忙しくなっている。
	企業	塗装業	東日本大震災からみで消費が進んだ。
やや良くなっている	家計	スーパー	1人当りの利用点数、利用単価が前年より伸張してきている。
		コンビニエンスストア	コンビニエンスストア業界としては、来店されるお客様と単価が良くなっている。
		レストラン	レストラン全体でも利用者数が前年同時期に比べ1か月1,000名程増加しました。企業の接待も震災で利用できなかった方が増えてきております。
		レストラン	震災発生のころと比べると、だいぶお客様の動きが活発になってきました。3月・4月に予定していた行事も延期開催する方が多く、少しずつ良くなっていると感じています。
		旅行代理店	3か月前は、東日本大震災の影響により大幅下方修正となり、現在はその当時よりやや回復してきているものの個人需要は依然厳しい状況にある。(国内旅行対前45%海外53%)
		タクシー運転手	タクシー業務は、東日本大震災後、保険会社の仕事が多く入り、3か月前と比較して、約2倍の売上があった。
		タクシー運転手	3か月前と比べて、東日本大震災後保険会社の利用が多く、収入も普段の2倍になった。今の状態が続けば安定するのだが!
	企業	製造業(印刷・同関連業)	東日本大震災の時期に比べればやや持ち直している。
		製造業(一般機械器具)	当社は地震の被害はほとんどありませんでした。客先が沢山の被害が出てやっと6月を向え元にもどりつつあります。仕事の方もやや良くなって来ています。
		製造業(精密機械器具)	OEM(相手先商標ブランド)製品の受注と、自社製品の現場設置型製品の引合いが増加しています。2年前は3月末納期での同様な動きがありましたが、前年はほとんどありませんでした。今回は納期が9月末や12月末までと言うのが大きな特徴です。その要因は不明です。
不動産業		東日本大震災の影響で賃貸の住替え需要が現在も続いている。	
雇用	求人広告	東日本大震災の影響より、少しずつ、以前の状況になりつつある。	
変わらない	家計	スーパー	東日本大震災により特需があったことを除けば、戻ってきている。(良くはない)
		コンビニエンスストア	3か月前は震災時であり、比較が難しい為。
		自動車販売店	東日本大震災の影響から一時消費の落ち込みがみられたが、徐々によくなっている。車の場合は、エコカー(コンパクト)を買い求めるお客様が多くなっています。
		専門スーパー	良いところと悪いところの差があるようなので、変わらないとしました。
		都市型ホテル	東日本大震災後、少しずつの回復はしてきているが、全体の予約状況、利用状況で例年を下回り、3ヶ月前と比較して大きく変わりはない。
		タクシー運転手	景気が良くなっているとは思えない。
		カラオケ店	景気の変化は感じられない。
		理・美容店	東日本大震災のために悪い方へ変わらない。
	建築設計事務所	東日本大震災の影響により、既存建物の調査、相談等が増えているが直接業務に繋がってはいないと感じた。	
	企業	情報通信業(情報サービス業)	大震災の影響があまりにも大きく、市場の縮小傾向、更には商談先延ばしの動きが出て来ている。罹災顧客は無論、直接被害のない顧客においても新規投資については様子見状態となり、成約見込み商談が留保されるケースも生じている。3か月前には、市場の様子から景気は良くなる方向と期待したが、結果は踊り場から脱することが出来なかったと感じる。
雇用	求人開拓員	東日本大震災後、3月<4月<5月と来所者の人数も回復傾向にあります。震災被災者対象求人にも応募があり採用者も出つつある。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	東日本大震災の影響からか、買い控えや節約がみられる。
		商店街代表者	東日本大震災での商店街の受けた影響は、大きかった。震災後、商店街でしばらくの間、復旧出来ない店舗が多かった。商店組員78店舗中、4店舗が震災の影響で閉店しました。当店では、大震災後、原材料工場が被害を受け商品が思うように入荷出来ていない。お客様は、生活必需品は購入しているが、趣味的な商品は購入するまでに至っていない。
		百貨店、総合スーパー	3ヶ月前は、東日本大震災があり、単純に比較はできないが、前年同月と比較すると、現在の景気は悪くなっている為。
		スーパー	東日本大震災の影響か、買い控えがすすんでおり、買上げ品数が減っているように見うけられる。
		家電販売店	東日本大震災の影響もあると思うが収入が減っているのでは、買物をしなくなっている。
		都市型ホテル	県内客の利用は有るが、県外客及び外国人利用が鈍化しており、相対的にやや悪くなっている。
		観光名所	ゴールデンウィークを境に人出も戻りつつあるが、団体等のお客様は例年と比べて減少。秋に移動するところもあります。震災後と比較すると良くなっているが、震災前で比較するとやや悪くなっているのか?

ている	理・美容店	農家を営んでいる方が多いせいか、今の時期忙しいらしい。全体的に最近は暇である。	
	住宅販売会社	東日本大震災の影響が大きすぎる。特に原発問題が尾を引いている。	
企業	製造業(金属製品)	東日本大震災の影響により小口の案件(補修工事, 改修工事)が増えたが、新築物件の延期や中止が相次いだ。	
	運輸業(道路貨物運送業)	東日本大震災以降物流が通常の流れになっていない。	
雇用	人材派遣業	震災に伴い、契約終了のクライアントがあった。	
	公共職業安定所	東日本大震災以降、有効求人数は、減少傾向にあり、逆に有効求職数は増加傾向にある。よって、有効求人倍率も0.5倍台と低迷しており、景気の悪化がみられる。	
悪くなっている	家計	農産物直売所	客数が1割強減少した。飲食店経営のお客の買う量が減った。レストラン部門夜は、50%減で営業を見合わせている。(土・日のみ営業)
		スーパー	震災による建物補修など突発的な支出が発生し、食品以外の余暇、ぜいたく品への購買意欲が低い。
		観光型ホテル	東日本大震災以来、福島第一原発事故の風評から、お客様がほとんどなく、車も県外ナンバーはほとんど見かけられない。
		ドライブイン	東日本大震災の影響もあり、来店客数は大きく減少している。さらに客単価も低下しており、きびしい状況である。
		ドライブイン	いままでに経験した事のない様な状況であります。とにかく観光のお客様がバスでほとんど来店、来園されていません。くらべようがないというのが本心です。
		ゴルフ場	3月の大震災前の状況は好調を示していたが、震災発生後は来場者数が前年対比で50%以下となっている。
		レジャー施設	3/11以降、生活優先で習い事は自粛している様と思う。
		レジャー施設	震災、津波、原発事故等が影響し、他県から来ていた利用者が減少。
		レジャー施設	東日本大震災以来低迷傾向にある。さらに原発事故の風評被害もあり一般の入場者は例年の半分以上。団体の件数は85%減となっていて非常に深刻な状態である。
企業	農業関係者	原発による農畜産物出荷制限や風評被害により、農業収入の減少や資材等の購買需要の落ち込み、関連農業施設の操業停止など大きく影響が出ている。また、地震による損壊被害により復旧に向けた経費が嵩んでいる。	
	製造業(食料品)	<ul style="list-style-type: none"> 取引先が被災して立直りが遅い。 観光客が激減して戻らない。 受注数が少ない。 風評被害が大きい。 	
	製造業(食料品)	福島原子力発電所の事故の処置の遅れで観光地への人の動きがなくなり、観光土産品の販売額が激減している。	
	製造業(印刷・同関連業)	受注が減少している為。	
	製造業(窯業・土石製品)	東日本大震災で修復工事の依頼が増加してはいるものの、新規の受注が激減している。	
	金融業	東日本大震災により休業に追い込まれていた取引先の多くも概ね事業を再開しており、売上回復に努めているが、震災前の水準には戻っていない。一部には再開自体できずに廃業へといったケースも見られ、中心市街地の空洞化に歯止めがかかっていない状況が続いている。	
	サービス業(広告業)	小売り、飲食などの売上の回復がまだまだで、販促費を抑えたまま。	
	サービス業(コンサルト業)	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、すべての店舗で3か月前より悪くなっている。前年比60~80%のお店がほとんどである。特に、生活する上で優先度が低い趣味・嗜好品を取り扱っている店舗や自粛ムードが続いている外食店が厳しい。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	特需ではありますが、震災復旧と鹿島コンビナートの定期修理が重なり、人と物が鹿島、神栖市内に流通しており消費には大きなプラス要因となっています。
	企業	製造業（鉄鋼業）	東日本大震災の影響は甚大であり、3ヶ月前と比べると工場の稼働率も向上している。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	復興・復旧の流れで震災に遭った地域では依然として外部からのお客様の利用が増え、売上増につながっている傾向がある。又、品不足のタバコにおいても無いもの欲しさに複数個まとめ買いされ少しでも買い占めようとする購買心理が見られ、客単価UPにもなっているため。
		家電販売店	3月は東日本大震災により被害が大きく、通常の営業が出来ませんでした。お客様の数も大幅減で売上ダウンとなりました。現状は地域全体の復興と共に通常に戻りつつあります。
		農産物直売所	東日本大震災後、例年の半分以下のお客様でしたが、5月中旬頃から客数も増加している。風評もあるが、客単価は伸びています。来店するお客様は逆に応援の意味でたくさん買ってきています。ありがたいです。
		洋食食堂	夜の来店客数は少ないものの、ランチの時の売上げが全体の売上げを引き上げている。
		割烹料理店	3か月前、大震災があり、1年の内で、一番の売上げが見込める時期に営業できず、大変だった。しかし、4月の前半から営業再開できて、思ったより客足は伸びている。
		理・美容店	3ヶ月前は、震災の影響でお客様の足が遠のいていましたが、ここ最近は元の生活に戻りつつある。
		住宅販売会社	地震1か月半くらいから、震災で被害を受けた家を建て替え、若しくは別の所に住み替えを希望する方が増えてきた。
	企業	製造業（食料品）	東日本大震災直後よりは、当然の事ながら経済状況は良くなっています。悲惨な状況の復興は考えていたよりは遅い様に思います。購買意欲はそれ程、元には戻っていない様思われます。心理的なストレスを引きずっている様に思える。震災前から建設中であったスーパーもやっと開店となり、かなりの集客しており、明るさと力強さも感じている。
		製造業（食品）	1. 東日本大震災直後の自粛ムードも少なくなり、会合等もほぼ通常通り行われるようになった。 2. 震災復旧工事が多く行われ、工事代金支払いも相当増えた。通常の10倍ぐらい支払った工事業者もいた。 3. 復旧工事もほぼ終了し、生産も通常になり、製品の出荷も通常通りとなった。
		運輸業（道路貨物運送業）	・東日本大震災で被害の有った東北方面の物流機能が寸断され、カバーリングで3月から5月まで貨物が集中した。 ・新年度から、メーカーの近くに置く在庫管理や配送機能をもつ物流拠点集約の傾向が見られる為。
変わらない	家計	商店街代表者	震災後、落ち着き感はあるが、進出企業及び中小企業者に復旧に格差があり正常な状況に至っていない。
		スーパー	会社業績は好調ですが、一時の人口増加や利便性の変化から、客数が伸びて良くになっていると思われる。震災の被害も復旧し、震災前の生活に戻りつつあるので、景気への影響は少ないと思います。
		小売業（金物店）	震災のころは忙しかったが三ヶ月を経過してからは普段と変わらないと思います。
		ショッピングセンター	東日本大震災後、3月に買物ができなかった反動のほか、不要・不急の消費を控え、地元で生活必需品を購入する傾向が強まっている。客数は増加傾向にあるものの、客単価は下回っている状況。
		タクシー運転手	先日、見たテレビ特番で『医療拒否』に関する問題提起あり。（自分も同じやなあ）と思った。毎日の生活をきりつめる、のではなく、やめるのである。必要があっても収入がともなわないので医療拒否。医者へ行かない。日々、不調は元より、こんな世の中、長生きもしたくないと思っている。
		タクシー運転手	仕事がふえない。
		タクシー運転手	3か月前と営収がほとんど変わらない。
		ゴルフ場	東日本大震災直後から比べると（3月）入場者、商品の売り上げとも増加した。しかし、地震も落ちてきた影響だけであり、実際はそんなには変わらない。
		室内装飾業	東日本大震災で将来の事を思うと誰でも財布の紐がきつくなるし、先行きが見えない社会に対して最小不可欠な消費以外を抑え、自己防衛に努めようと思う。だから今後当分の間、更に景気悪化が続くのかと考えます。
企業	製造業（印刷・同関連業）	4月よりロト6の抽せんが2回になり10～13%売上が伸びたが他の商品は低調でならずと4～5%売上が前年比が落ちている状況に変化が見られない。	
	運輸業（道路貨物運送業）	鋼材の生産は徐々に回復しているようですが、今の所出荷量は変わらない。	
	保険業	悪いままがつづいているが、建設、土木、瓦店は3年先まで仕事が間に合わないとの事。	
	不動産業	H23.3.11東日本大震災で賃貸家屋が傾いてしまった方が、震災後来店され事務所は嵐のような状態で来てこまになりましたが、6月に入りやっと落ちついて来たところ。この震災の中でも自己用住宅ならびに賃貸住宅が新築されています。新しい物が作られている事は景気回復になるのではないかと思います。	

やや悪くなっている	雇用	公共職業安定所	東日本大震災に伴い休業による雇用調整を実施している事業所の状況は、まだ完全に震災前の事業活動の状況に戻っていない事業所も多く見受けられる。また、休業による労働者の賃金収入の減少もあり、購買意欲が低下していないか不安な要因があるが、反面、震災後の復旧に係る土木、屋根瓦、配管等の事業所での受注の増加による求人募集もあることから景況感はあまり変わらないと思われる。
	家計	商店街代表者	地域、国家共に世界に先駆けて、好景気を創出できる諸条件の揃った日本は、東日本大震災後に於いても不一致の政争に明け暮れ、国民不在の如き対応の遅れに加え消費税10%段階的値上げなど、不況下の中で財布の紐が先行き不安から一層きつくなる傾向にあると思われます。
		商店街代表者	震災の影響があり、買い控えがある様に感じる。
		スーパー	潮来市は液状化の災害が有り、住宅の被害を受けた方が多い。近くの神栖市も災害を受け、家を直すのにお金の必要な人がいる。その為、食費はおさえる為、日替わり商品に集中している。
		小売業（酒類）	3か月前は震災のあった月で、前年比売上高だけでは単純に比較できないが、アルコール類に関しては今月の方がやや低調である。
		小売業（書店）	東日本大震災後、4月上旬より営業を再開したが、近隣店舗の閉店（営業停止中含む）もあり、街自体の活気も低下。
		日本料理店	旅行会社のキャンセルがかなりあった。（原発のせいで、西からのお客様すべてキャンセルだそうです）3月のキャンセル分を今月に回していただいたお客様がいたのでトータルすると、やや悪いかと思います。
		観光型ホテル	震災以来、風評などによりキャンセルが出ている。
		タクシー運転手	景気がやや悪い。夜の客が少ない。今は自分の地域はコンビナートの定期修理が入って居るので少しは良いが、終わったらまた少なくなる。
		ゴルフ練習場	東日本大震災により、自宅や勤め先の会社の被災で、プレーする時間がなくなっている。それと同時に、自粛ムードが広がっている。
		パチンコ店	震災の影響で遊技人口が減っている。
クリーニング店	東日本大震災で建物などが壊れたので、修理代がかかるので消費を控えている。農業では風評被害で値段が安い。		
企業	製造業（食料品）	景気が下降し、消費も減り、震災の影響も重なり、出荷数（売上）が減少。	
	建設業	東日本大震災の被害だけでなく原発の被害（風評）は、かなり深刻とみる。	
	金融業	東日本大震災による余波は依然続いており、返済に支障を来し、支払猶予の依頼も相当数あることから、景気は後退している。	
雇用	人材派遣業	・3月11日の大震災以降はコンビナートの状況は既にご案内の通り各企業は復旧に向けて必死に頑張っているところであり派遣受入の所ではなかった。 ・6月に鉄鋼・化学コンビナートの状況は7～8割に操業が回復。現状は東北地方の復興資材関係が繁忙にあり若干派遣要望あり。しかし、依然として低調。	
	学校就職関係者	H23.3.11の東日本大震災後、日用品など品薄感を感じるため。又、無駄使いなどしないなど購買力も落ちている気がする。	
家計	小売業（薬品店）	いまだかつてない、大震災で流通はストップしたが、少しずつ戻りつつあるような気がする。それでも景気の悪化はどの業種でも避けられない。	
	観光型ホテル	東日本大震災による原発事故の影響は全てを悪化させている。	
	ドライブイン	東日本大震災後、ゴールデンウィークを過ぎても観光客が大幅に減少しているため。	
	理・美容店	鹿行地域は震災の被害も大きくそれともなう支出も大きいのでサービス業の景気は悪くなると思います。	
	住宅販売会社	東日本大震災による液状化の影響が大きく、景気回復はしばらく見込めない。	
企業	農業関係者	「風評被害」この一言に尽きる。ハウレンソウを主に生育していた為、初期段階での汚染報道を聞き全て廃棄処分にしてしまった。土壌汚染の不安も大きい。	
	製造業（食料品）	東日本大震災以降荷の動きがない。又製造するにも原料、資材等が不足。	
	製造業（化学工業）	東日本大震災の影響により生産を停止している状態であったが、5月より一部生産を開始させることが出来たが、定期修理に入ったプラントもあるので、生産はまだ安定していない。	
	製造業（化学工業）	東日本大震災による長期の操業休止と、復旧費用の支出等により、業績は大きく悪化している。	
	建設業	東京電力の原発の影響で都会の移住者が来ません。ですから建物が建ちません。特に鹿島地区。一般の方も少ないです。建設業は0です。	
	サービス業	東日本大震災の影響で自動車業界からの依頼が激減している。	
雇用	求人開拓員	3月11日発生の今世紀最大の東日本大震災の影響が甚大で、3か月を経過しようとしている現在でも復旧・復興が工程通りに進んでいない。更に農業・漁業・林業関係についても東京電力の原発事故による放射能の風評被害の影響を受けている。以上の理由により殆どの業種・職種における事業所からの求人募集の動きが停滞している。	

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	競合店の閉店により前年対比売上・客数ともに110~120%となっており今後も続くと思う。
	企業	建設業	大震災のため、今は仕事が間に合わない状況である。これを景気が良くなっているというのはいかがと思うが、3か月前の工事受注量から比較すると大幅に増加している。
やや良くなっている	家計	小売業（酒類）	3か月前（3月）は、大震災の影響で自粛ムードが広がり、歓送迎会等のキャンセルが多かった。今月の前年比は変わらないが、3月の前年比が悪かったため、相対的にやや良くなっている。
		都市型ホテル	3月直後は、一般宴会のCXLあり、宿泊も被災地とのことで、海外宿泊客の減少もあった。レストランも自粛ムードで接待利用がなく、また、節電での営業時間も短縮することもあったが、多少成り上向きになり、一般宴会も徐々に受注してきた。そのことから、3月よりは景気はやや良くなっている。
		ゴルフ場	3か月前の3/11に東日本大震災が有り、11日以降を最悪とすれば少しずつ良くなって来ていると感じられるが、本来の景気とは別のものであり対前年とすれば到底及ばない。
		理・美容店	平成22年度の流れより、今年の流れが変わり、いい傾向にある。客数も増え、この先が楽しみだ。
企業	製造業（飲料）	3か月前の大地震の時に比べれば少々良くなっている。	
	建設業	震災後の建築関連修繕工場の活発化により、売上げが増加している。ホームセンター業界でも、日用雑貨、修繕DIY用品の売上げも増加しているようで、全体として景気は良くなっていると思う。	
変わらない	家計	スーパー	震災直後の買い占めがあり売上高は一時的に増加したが、景気はほぼ変わらない。
		スーパー	売上の中身は変わっているが、売上額そのものは変わらない。
		家電販売店	7月はアナログ放送終了によるTVの買い替え需要が増加しており、3か月前と比べても売上が同推移の状況。3か月前(3月)といえは震災の影響があったものの、決算期とエコポイント需要が重なり売上自体は前年並みとなっており、その時の売上と変わらぬ状況から、今月に入っても景気自体は変わっていないと考えられる。
		農産物直売所	私は今のお店に転勤になり2か月になります。店の客層もちがうので、いちがいいには言えませんが客単価下がっています。震災のせいもあるでしょう。しかしながらお客様の数は変わりません。
		和食食堂	売上の前年比が変わらないため。
		洋食食堂	日々の営業が変わらず過ごしている。客単価の低いメニューがあたりまえになってはいるが、来店数も変化がない。
		都市型ホテル	3か月前と比べると宴会・会議は増加しているが、地震の為にひかえていた宴会・会議が移動しただけで景気が良くなったとは思えない。
		タクシー運転手	3か月くらいでは変わらないので。
		ゲームセンター	前回調査時とほぼ変わらない売上である為。
		建築設計事務所	東日本大震災後のため、リフォーム等の話はありますが、思ったほど、成約出来ない。
住宅販売会社	県北地域ほどではないが、震災によるダメージが残っている。		
企業	製造業（家具・装備品）	売上の低い所で維持して居ります。相変わらず高級品か低価格のものです。	
	製造業（一般機械器具）	期間社員に対する休業措置を引き続き行っているため。	
	運輸業（倉庫業）	東日本大震災の影響で、荷主の工場及び倉庫が被災し、貨物保管が例年になく増加している現状です。出荷数等を例年と比較すると現状維持に近いため、変わらないと思われます。	
雇用	求人広告	東日本大震災の影響が多少なりともあったが、あまり変わらない。	
	学校就職関係者	特に変化は見られない。コンビニなどの利用状況、自動販売機でのジュースの購入など特に変化は見られない。話題にも特に変化は感じられない。	
	求人開拓員	製造業の求人減少が見込まれたが、全体の職業別比で前年比で同じ位の企業求人である。	
やや悪く	家計	スーパー	客数が前年比で98%と減少しており、売上が落ち込んだ。
		コンビニエンスストア	朝の時間帯の客数が減少しているように思える。工場関係や、建築関係者の来店が少ないように思える。
		コンビニエンスストア	生活防衛意識の高まりから、客単価、買上点数の向上が図れていない。セールやキャンペーン等の販売が好調であり、高価格商品を低単価で購入する傾向が高まっていると感じる為。
		専門スーパー	東日本大震災前は景気が少しずつ回復して、好調を維持できていたが、震災後は一変し厳しい状況になる、しかし、補修関連商品は好調で売上を支えている。
		タクシー運転手	節約志向に加え、被災者に対する自粛感で一般のお客様は激減。只、当社は損害保険会社の調査の為に、数台貸切で使って頂き黒字に転じましたが、調査もほぼ終わりこの先には不安が残るばかりです。
		ゴルフ場	震災・原発の風評により、お客様の間で自粛ムードが強かったが、個人のお客様には若干ではあるが、自粛ムードを脱けたようだ。
		レジャー施設	東日本大震災後当店はもちろん、スーパー又、大型店等お客様の稼働が落ちている。
		農業関係者	東日本大震災の影響で自粛等で消費が低迷している。

な っ て い る	企業	製造業（印刷業）	東日本大震災の影響による、各種イベントの自粛が考えられる。
		製造業（窯業・土石製品）	新年度になっても予定された仕事が東北地区、北関東地区では思うように進捗していない。
		製造業（窯業・土石製品）	東日本大震災の影響により、出荷が一時ストップしたことや、生産設備の復旧作業により出荷は落ち込んだ。
		建設業	東日本大震災から私は建設業のいよいよ工事量の到来が来たか、他人には言えないが心ひそかに一人つぶやいた。しかし6/1に至ってもボツボツの改修工事をたのまれる程度しか引合いがない。ある工場長の話では、自分の机の上の天井が落ちていても即やろうとしない理由は余震がおさまる迄ヘルメットをかぶっているからいいよ・・・この言葉は本心ではないと思います。
		建設業（設備工事業）	3か月前までの造成地がなくなり、客からの入札もなく、発注の物件が本管からみなので、資材の出庫は減少している。
		金融業	震災の影響により消費の抑制、物流の停滞、受注工事の中断等あり景気低迷の要因となっていると思われる。また、昨年対応した条件変更先が1年経過し、元金の増額返済開始となるが再度元金軽減での申し出が続いている。
		不動産業	震災の影響で末端の企業及び個人ユーザーが悪くなっていると思われるが当社に於いてここ3ヶ月は悪くはない。この様な状況下だからこそやるべき事もあるし過去の行いが評価される良い時期とも思う。
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	大震災の影響での消費低迷は大きい。
		小売業（化粧品）	東日本大震災から悪化していますので、その影響が大。壊れた家等の修理費などが優先され、化粧品はそれが一段落してから回復する。
		農産物直売所	売り上げが下がっています。風評被害により、野菜、くだものが全体的に売れない。それにより、売上が伸びない。
		洋食食堂	店を開けられなかった事もあるが、毎年のように来店していた客も遠のいている。
		タクシー運転手	タクシーを利用している営業の方が、つくば市の会社がかなり被災しているので、営業にこれない為に仕事はかなりへりました。
		タクシー運転手	県南部も被災しており、地震の前の景気にですらもどるには数年かかるだろう。
		タクシー運転手	東日本大震災後、きわめて全体に仕事が急激に激減しました。
		代行運転手	飲食店や居酒屋さんにお客様が来ていないから。外食する人が極端に少なくなっている為。
	理・美容店	東日本大震災の影響は多大に感じていて、節約・節電・エコに積極的に取りくむ傾向にあり、先行きの見えない不安をかかえている現状。	
	企業	製造業（食料品）	東日本大震災後、お客様の購買意欲がにぶっている、又他県からの注文も少なくなっている。
製造業（食料品）		前期よりも客数が減っている。	
製造業（非鉄金属）		震災後に主力取引自動車メーカーからの受注は、半減しており、60%程度の操業率になっている。状況は、非常に厳しい。	
雇用	人材派遣業	東日本大震災による影響。	
	公共職業安定所	東日本大震災の影響は業種を問わず多大であり、生産量の下落、宿泊業、飲食業等は集客が困難となっている。	

(5) 県西地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	ー	ー	ー	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	コンビニエンスストアについては、震災後身近な商品を取り扱っている為か、売上げが順調に推移している。特に水や納豆、惣菜など生活に密着した商品の販売が伸長している。お客様が生活必需品については消費を控える段階までは来ていない様に感じる。	
		家電販売店	家電エコポイントの特需は終了致しましたが、アナログ停波によるテレビの需要が見込める為、家電業界は7月24日まで景気は良いと思います。	
		農産物直売所	震災・原発により落ち込んだ景気も当時よりかは落ち着きを見せている。しかし、原発の収束も見えない中政治不安とあわせて不安定である。	
		和食食堂	自粛ムードはまだ続くものの、震災直後よりはだいぶ緩まり、出前の件数が戻って来ています。	
		和食食堂	3月の東日本大震災の影響でキャンセルが続出し売上げが落ちていたが、ようやくお客様も戻ってきたので3ヶ月前と比べやや良くなっている。	
		都市型ホテル	3か月前は震災で宴会が日延べになったり、キャンセルになってしまった。その時期と比べるとやや良くなっている。	
		クリーニング店	・衣替で品物の点数が上昇。 ・しかし、天候不順で品物の出方がまちまちで安定せず。	
	企業	製造業（化学工業）	震災の影響により日本からの出荷が滞ることを懸念した海外顧客からの受注が急増。但し、一時的な物量確保による仮需の可能性はある。	
		製造業（窯業・土石製品）	震災直後のショックから立ち直り、停滞した物流の復活が見られる。	
		製造業（窯業・土石製品）	東日本大震災による特需の為に我々石材業界は仕事が特に工事を業態としている業者は、やりたくない位の補修依頼を受けているそうです。当社は、業者向けの「加工卸」を業態としていますので、直接は恩恵に浴していませんが、若干間接的に受けています。	
	雇用	公共職業安定所	3か月前には筑西所に勤務していなかったのが感触としてはわからないが、求人数等は若干増えている。	
	変わらない	家計	スーパー	震災後約1ヶ月間は、営業数値は上向きであったが、現在は、ほぼ3ヶ月前の数値にもどっている。
			コンビニエンスストア	震災後、自粛ムードがある中ではあったが、売上、客数ともに前年を越えていることから、動きはあるものの、買上点数の低下もあり、無駄な購入をおさえている傾向もある為、総体的には大きな変化とはなっていない。
鰻屋			お客様の食事、飲物、金額が変わらない。	
タクシー運転手			東日本大震災のあと少し悪くなり、その後、3ヶ月間売上がほとんど変わらずにきています。	
ゴルフ場			震災の影響も徐々に薄れ、企業コンペは相変わらず減少傾向であるが、個別コンペは戻りつつある。予約の推移も多くもなく少なくもない。	
ゲームセンター			土日の集客は良いものの平日の集客が減っているのでトータルではあまり変わらない。また、地震の影響がまだに残っている。	
理・美容店			今回の東日本大震災では東北地方の景気悪化と云われているが当店では営業については変りはない。当店では客に対して、真心を込めて対応している。客は理解してくれているので営業に関しては変化はない。	
理・美容店			客数・売上ともに変わりはなく現状維持の状態。	
企業		農業関係者	風評被害による消費減少が見られます。消費者は安い物は購入していただけますが、衝動買いはひかえている。	
		製造業（一般機械器具）	仕事を受けても納期がない、自社でできる仕事も外注にだす様になる。自動車関係の親会社は、7月より木、金を休みにして土、日出勤する様になった。自社は土、日休みだが仕事の内容によっては、休出になると思う。	
		建設業	資材の供給は安定してきた気はするが、景気は変わらず良くはなっていない。	
		製造業（印刷・同関連業）	良い話を聞かない。	
雇用		人材派遣業	地震から、まだ、売上が20%位落ちている。	
	求人広告	震災の影響をあまりうけていない。		
家計	ガソリンスタンド	休日などの来店台数が減っている。車などによる外出を自粛している方が多いようだ。		
	タクシー運転手	東日本大震災の為、企業の各工場が被災し生産、流通すべて減少し、又各病院関係、その他、被災により人の動きが止ってしまった。経済の動きが減少し、福祉、医療のサービス低下、自粛ムードでの外出の減少が直接影響している。		
	ゴルフ場	予約状況にて。		

やや悪くなっている	日本料理店	来店客数減、客単価が低くなった。来店動機減。	
	住宅販売会社	震災抜きには景気の状態は語れないほど、その与えた影響が大きかった。	
	企業	製造業（食料品）	東日本大震災による原発事故の放射線の風評被害。消費者からの製造工場の確認及び茨城県での製造を確認しての購入自粛。 夏場の電力削減による他工場への生産ラインのシフト。
		製造業（印刷・関連業）	3月11日の東日本大震災以来、行政、商工会議所、観光協会、民間等々の各種イベントがすべて自粛ムードで中止されました。結果は、物も人も動かず、よってお金も動かずで、業種にもよるが、多くの業種が売上減で資金難におちいっている。
		電気工事業	東日本大震災の影響でしょうか、動きがおそく、景気が淀んでいる感じです。
不動産業		東日本大震災後売買物件の購入決定が慎重になっているためか遅くなっている。	
サービス業（コンサルタント業）		もともと不景気感が強かったところに来て、今回の震災の影響（風評被害）で農家に元気がない。この地域は農業人口が多く農家に元気がないと経済が活性化しないので悪化していると強く感じる。	
雇用	学校就職関係者	東日本大震災の影響による、製造業の生産の落込みは、あまり見られない。しかし、商社は、商品の注文が落ちているようであり、営業の電話がよく掛ってくるようになった。商品価格が、3カ月前の30～40%上昇している商品もあった。	
	就職相談員	東日本大震災による工場停止等で生産ストップになり、雇止めがある。一方、復旧の為の仕事増で求人もある。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	東日本大震災により、客足が途絶えた。物質的な被害と同様、経営的被害になっている。
		商店街代表者	必要な品しか買っていかない。（客単価が減少している）
		時計販売店	東日本大震災や原発事故の風評被害等の影響でお客様が買い控えをしている感じがします。
		自動車販売店	県西地区は比較的被害が少ないと思われていますが、筑西市管内も多く塀、ぐし等の被害があり、高額な自動車購入は買い控えの状態だと思います。その為、景気は悪くなっています。
		旅行代理店	震災と風評（原発）の影響により、求人が少なく、就職希望者40人に対し、求人数が1名。歯科など病院事務、受付業務。その他、お金をいかに使わずに過ごすか、みんな考えている。
		ビジネスホテル	人の動きが悪くなっている。東日本大震災の影響で復旧のための工事が入っていたが、今は一段落した状態で、今年の1～2月の状態にもどった感じである。
		タクシー運転手	3月11日の震災から仕事が極端にへった。夜の飲食店の仕事はない。
		ドライブイン	東日本大震災後、観光バスが入ってこない。客数、売上共に大幅に減っている。
		ドライブイン	客単価、来場者数ともに減少しており、特に土日の落込みが顕著である。震災後の極端な落ち込みは、GW頃には改善されたと思われたが、その後足踏み状態が続き、梅雨入りが早まる等の影響により落ち込みが見え始めている。
		レジャー施設	東日本大震災の影響で消費者の自粛が大きい。
建築設計事務所	建築業界の3か月前の景気状況は低迷が続いている状況でしたが、3.11の大震災が起りほとんどの動きが一時止まってしまった状況で、計画の中止・契約の延期やらとさらなる景気悪化が起りました。3か月たったいまでもなかなか回復傾向が伸びない状況である。		
企業	農業関係者	原発事故等の風評被害などで青果物の価格が安い。	
	製造業（食料品）	震災後、外国人労働者が緊急帰国したり、仕入先の被災・流通の混乱による原料の不足等により、需要はあっても生産が十分に出来ない状態が続いている。実際に売上も震災前の80%程度で推移している。他の取引先も10～25%程度売上が減っている所が多い。	
	製造業（印刷・関連業）	東日本大震災の影響で、紙・インク等が値上りしたにもかかわらず、製品単価は下がり続けている。震災以後、仕事が消えるようになっていく。少なくなっている仕事を、低価格で奪い合っている。	
	製造業（金属製品）	今般の大地震の影響で非常に不安定な状況になっている。	
	金融業	震災直後は商品不足・風評被害等に加えライフラインの復旧にも時間を要し、特に飲食業に於いては一定期間の休業を余儀なくされた。他業種に於いても通常営業に回復するまでの売上減少は否めない業況にあり、又、商品・設備への被害も相俟って一部震災復旧に携わる建設業者以外については景気が悪化しているものと思料する。	

Ⅲ 景気判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（電気機械器具）	製造現場の作業量がさらに増加する見込みであるため。
		運輸業	「質問 2（震災の影響で、復興・復旧資材の輸送が増えてきている）」のような状態が暫く続くので。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	震災の復旧工事がしばらく続くのと、本格的な建て替え工事が見込まれる為。
		小売業（工具）	秋口から本格的な復興が始まるとみる。合わせて通常の需要も元に戻るとみるため。
		金物・荒物・建築資材	現在災害中心に仕事が増加しているが、今後落ちつきを見せた後は、本来の売上にもどると思う。
		小売業（靴製品）	上記の様なこのままの流れで行くでしょう。
		ゴルフ場	月日を経過するにつれ原発事故が終息に近づくから。現状では茨城県というだけで敬遠されている。
	企業	製造業（精密機器）	3か月先だと悪くなる理由がないと思う。
		不動産業	上記の不安要素が払拭されれば、税制の変更等による駆け込み受注等が見込める。但し、福島原発の事故推移によっては悪化する懸念もあり。
雇用	運輸附帯サービス業	10月頃に入れば、メーカーの生産ライン、調達部品の同期化の向上が予測されるので、現状よりはかなり良くなると思われる。	
	学校就業関係者	震災の復旧も進んでいるので、今に比べると良くなっていると思うが、震災前と比べると大きく下回ると思われる。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	例年であれば、夏に向けて客数・売上の上昇が期待できるものの、今年は行楽等の動きが期待できない。高速道路のETC割引の縮小も人の動きを弱めるのではないかと思われる。
		自動車販売店	今の状態が3ヶ月後に変わっていると思えないから。
		小売業（酒類）	震災後地元企業、通常の仕事量に戻るには秋になる予定という声が多い。
		レストラン	良くなると考えにくい。
		スナック	先程と同じ理由です。（震災の被害が大きく、元の生活に戻るのには相当の時間を要すると思うから。）
		観光型ホテル	原発問題があり、ある程度のメドが立たなければ厳しい状況からは抜け出せないと思う。
		タクシー運転手	国からの良い復興支援策がない限り、この状態はしばらく続くと思う。
		タクシー運転手	工場の機能回復まで時間がかかりそう。
		タクシー運転手	5月中旬位からは、タクシー利用も、もち直した感じではありますが、この先3ヶ月は、電気の節電などにより、お客様の動きがどの様になるのか、今一つ読めないため、良くなるとも、悪くなるとも判断できないため、変わらないと判断しました。
		ドライブイン	去年のような猛暑でなければ、また原発事故の件がなければ、やや良くなっていたかもしれないが、他にも影響が新しく出るかもしれないので。
		ボウリング場	今はよいが以前同様他店も営業を再開すれば元に戻るのではと思う。
		レジャー施設	福島第一原子力発電所の事故に伴う風評が薄れるまでは、厳しい状況が続くと予想されるため。
		ゴルフ場	徐々に来場は増えてきているが、単価は下がっている。首都圏の来場が増えないことと、猛暑の懸念のため。
	企業	林業関係者	このままでは非常にこまります。良くなってほしいが、変わらないと感じます。
		製造業（電気機械器具）	今後夏に向けて、節電15%を計画立案し提出しています。その他の経費増にならぬ様、極め細かな管理は必要になります。
建設業		先が見えない不安から、暫くは変わらないと思う。	
雇用	求人広告	震災の影響。	
	公共職業安定所	震災の影響から悪化している企業（例えば、ホテル旅館業や、観光サービス、水産業関係など）もあれば、工場などでも不足しているための増産となっていたり、土木・建設など、受託の増えている企業もある。全体としては若干減少傾向と思われるが、大きくは変わらないと思われる。	
	求人開拓員	製造工場も徐々に復旧され、以前の仕事量に戻ってきているが、人員増員までは行かない。	
やや悪	家計	スーパー	お客様から屋根の修理、風呂、門、その他いろいろな所の修理に500万～1,000万かかり、食費を節約しなくてはならない等の声が多いため。
		コンビニエンスストア	風評（海・河川への放射能）による行楽地への集客減、計画停電；節電による休みの増加により、通常時の安定した動きが減りそうです。また、昨年の猛暑による裏返しにより、前年比で見ると景気は悪くなりそう。
		衣料品販売店	東日本大震災の影響が、まだまだ続くでしょう。
		小売業（水産物）	自粛ムードがまだ改善されなければ、景気が上向きになると思えない。

悪く な っ て い る	家計	和食食堂	東日本大震災の影響は可成りきびしい。修繕費など思わぬ出費で、職場の会合が少なくなるだろうとの会話が聞こえる。
		旅行代理店	大震災による「旅行の自粛」が拡大している。
		タクシー運転手	・電気の関係により、工場休日の変更がどのように影響してくるのか、先が見えない。 ・原発関係が不安。
		理・美容店	震災により屋根や塀（大谷石は殆ど）が被害を受けた。復旧・修理が優先されるとされる。
		クリーニング店	震災と、福島放射能の影響は大変大きく、特に県北地区の売上の減少は大きい。
	企業	製造業（一般機械器具）	震災の影響により回復するまでには至らないと考える。
		製造業（電気機械器具）	大震災の影響が継続してある為。
		製造業（電気機械器具）	原子力関連の仕事の先行きが不透明であり、現状から好転するとは思えない。
		製造業（電気機械器具）	国内、輸出とも受注が伸びていない。
		情報通信業（情報サービス業）	まだまだ震災の影響があり、景気回復には時間がかかると思う。
悪く な っ て い る	家計	商店街代表者	質問2に準ずる。（地震、原発等による風評及び消費マインドの減退。）
		スーパー	物価上昇。小麦粉等値上り予測。
		スーパー	節約指向は続く。チラシ効果+店づくりが重要となる。ギフトについても、例年と同様な動きではなく簡素化・小額化となる。
		農産物直売所	原発・放射能問題が終息及び改善する方向にいかなければ・・・北に向う心理にならない。（当方原発100km圏内）
		民宿	仕事で長期滞在しているお客様が終われば、その後の予約は全くと言っていいほど入っていない状況で、3か月先の9月は例年客足は鈍るが、今年はさらに悪くなると思われます。又、原発事故の終息状況によりかなり左右されると思われます。
		観光型ホテル	今月の予約状況と比較しても、さらに予約件数が落ち込んでいる。例年であれば団体予約が増加する時期であるが、今年は個人予約が多少入っているのみである。原発事故が終息しない限りは、この状況は変わらないと思われる。
		ゴルフ場	①対前年実績に比し、現時点の7～9月時点の予約状況は、-40ポイント落ち込んでいる。 ②8月を底にして、ゴルフ事業は正念場を迎える。
住宅販売会社	もはや短期間で回復出来る状況ではない。		
悪く な っ て い る	企業	水産業関係者	震災等の影響は、時間が経つにつれ、その膨大な被害におどろくばかりです。この為、復興にはまだまだ先のことになる様です。
		製造業（電気機械器具）	大震災の復興が遅れば景気回復は長引くと思います。いずれにせよ様子を見てみないとわかりません。
		製造業（製缶）	地元企業の発注による下請け企業が大多数を占め、特に原子力関係の受注している業者においては、受注量が皆無になるなど企業存続に関わる重大な問題が発生している。一部、受注が回復傾向にある下請け企業においても受注に対応すべく部材の調達に間に合わず歯痒い状態が発生している。建築関係においては、災害復旧事業により受注が増加している業者もあるが工事内容によっては小額で時間がかかるなど利益の薄い状況が発生している。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(精密機械器具)	あるOEM製品においては、今期発注予算台数が20台となっていました。4月、5月の2ヶ月で既に10台を達成しており、今期発注台数は大幅に予算を達成するものと思われます。
		塗装業	新たな更新する身の回りの消費が増す。
やや良くなっている	家計	自動車販売店	メーカーのエコカー投入が多くなり、燃費のよい車の需要が多くなってくると思います。
		スーパー	震災、原発関連のニュースが減ることで消費者のマインドが変わり、景気が活性化することを期待しています。
		観光名所	原発問題が深刻化しなければ、春の団体の移動等で例年より若干予約が増えている為、期待したい。
		レジャー施設	何事かにも進まない、何かしないと思う意識が高まってきた様に思う。
		カラオケ店	去年が底であったため。
		建築設計事務所	余震が落ち着くころ、震災にあった建物の補修工事、補強工事、建て替え工事等の設計業務が発生すると想像される。
	企業	製造業(金属製品)	見積りの件数が増えつつあり、また、復興需要も見込める。
		製造業(一般機械器具)	客先からの今後の生産計画が出ました。良くなる方向です。特に建設関連。(建設機械)
		運輸業(道路貨物運送業)	企業が地震被害より立ち直って来ており、生産も急ピッチに回復すると思われる。
	雇用	求人広告	災害復旧の仕事が、増えてきている。
変わらない	家計	スーパー	・除々に復活してきている。(良いとも悪いともいえない) ・食料品全般の値上が報道されているが、一部を除き値上が浸透していかない。(値上できない) ・需要がついていかない。
		スーパー	放射能関連での風評被害がおさまっていない。商品についていろいろなお意見をいただいています。
		農産物直売所	原発に目途がつけば回復すると思われる。
		レストラン	長中期的に見ていると、まだまだ自粛ムードがあり様子をうかがっている状況な感じです。その為、3ヶ月先の景気として考えると良くなっているとはいえない状況です。
		ドライブイン	観光のお客様が来ての当店の運営の成立ですので、キャンセル、新規の予約がまったくないので、9月頃には回復する事が念願ではありますが、先が見えて来ません。
		レジャー施設	原発の収束が長びくと思われる。
		レジャー施設	電話等の問い合わせや、予約状況を見ても回復は見込めない状況である。しばらく、消費の低迷傾向は続くと思われる。
		理・美容店	最近のサイクルが(来店)長くなってきているので、3ヶ月後は今月と変わらない様な気がする。
		理・美容店	良い方向への話は聞かず。一段と悪くなると思います。
		住宅販売会社	原発に一定の目処が立たなければ、かなり危ない状況も考えられる。
企業	情報通信業(情報サービス業)	震災復興に直接的に関与出来る企業からは、今後への期待感を読み取れるが、多くの企業からは、先行きの景気見予測は極めて難しいとの話が出ている。震災により崩壊したサプライチェーンの再建や製造・生産力の回復状況等々は、景況感に大きな影響を与える要因になるものであり、又、現在の市場動向や商談状況を鑑み、当分の間、景気は横這い推移と見る。	
	金融業	政治の混迷が極まり、震災復興という絶対的な命題も解決し得ない状況であり、明るい展望を語る人もなく、悪い状態がしばらく続く。	
	不動産業	一時的な動きは落ち着くと思うが、賃貸物件の稼働率に大きな変化はないだろう。	
やや悪くなる	家計	商店街代表者	家財の修繕など、震災による余計な出費もあり、建設関連などの一部の業種を除いてはマイナス傾向と思う。
		商店街代表者	福島原発問題が終息されないと、近隣県である茨城県は影響を受けている。当店のお客様の中には、いわき、県北(日立・高萩)から来店する方がいましたが震災後、殆んど来店しなくなりました。
		百貨店、総合スーパー	今後3か月先の景気は、東日本大震災の影響がまだまだ続く懸念される為。
		コンビニエンスストア	コンビニエンスストアの売上の伸張の多くがタバコに寄与しておりますが、3ヶ月後にタバコの製造・販売が安定すれば、客数・売上が落ちる事が予想される為。
		コンビニエンスストア	夏の行楽などが茨城県は、原発・津波の為減少すると思う為。
		家電販売店	今までの景気が変わらなければ今までより悪くなる。
		専門スーパー	震災の影響での出費が多く、買い控えが来るのでは？
		レストラン	風評被害で、今後～夏場に向け、県外からの利用者減少が予測されます。ホテルはもちろん、県全体でも影響が出ると感じます。
		都市型ホテル	現在の予約状況は、現在よりも更にきびしく今後の状況も読み取れない。自宅の修繕を含め、支出を少しでも制限する話をお客様との会話でもよく耳にする。
タクシー運転手	震災の影響で景気の状態は、あまり良くない状況が続くと思う。		

っ て い る	タクシー運転手	震災の関係で、保険会社の仕事は現在あるが、3ヶ月先は不明。保険会社の仕事が無ければ、普通の月より悪い状態である。	
	ドライブイン	この先3か月で、このような状況が良くなるとは思えない。先行きの明るさが見えない。	
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ・原発が収まる見通しがみえない。 ・アジアナ航空の見通しがみえない。 ・サイエンスで大地震の可能性を掲載。 ・収入減少の傾向。(給与) 	
悪 く な っ て い る	製造業(食料品)	電力の15%削減要請を受け、機械の稼働は影響を受ける。	
	製造業(印刷・同関連業)	一時の最悪期は脱したもの、依然として厳しい経営状況が続くと思われる。特に家計においては節電への協力もあって不要不急な物の購入を控えたり、ぜいたくを控える節約行動が強くなる。	
	サービス業(コンサルタント業)	新規の受注先が少なく、先行きはまだ見えない。	
悪 く な っ て い る	雇用	公共職業安定所	当面は、東日本大震災の影響から弱い動きが続くと見込まれる。
	求人開拓員	政治が混迷化中、景気の先行き不安が多い。震災復興関係の予算等の執行も遅れるのではないかと。	
	家計	スーパー	原発の問題、消費税の上げ等、暗い話題ばかりで、影響をうける人も多く、ますます生活の防衛がすすむと思う。(消費税が上がったら、困ると話しをする、高齢者が多くいる)
悪 く な っ て い る	都市型ホテル	給与の減額や賞与カット、又は雇止め等により、贅沢品に分類される事柄は悪くなると予想しております。	
	観光型ホテル	先行の予約も回復が見られず、福島の問題が終息しない限りは低迷すると思う。	
	旅行代理店	東日本大震災による影響は今後も厳しい状況が続くと考えられ、4月～6月より回復傾向にあるものの厳しい状況にある。(国内67%海外85%)	
	タクシー運転手	震災特需で今は忙しいが、先行きは繁華街の賑わいもどってきていない。	
	タクシー運転手	保険会社の仕事が3ヶ月先あると思わない。現に、6月現在減ってきている。	
	ゴルフ場	東日本大震災震災後に判明した原子力事故による風評被害等により予約状況が減少傾向を示している。	
	企業	農業関係者	これから、秋の収穫期まで更に被害が増大する傾向である。
悪 く な っ て い る	製造業(食料品)	たった今原発が終息したとしても、客足はただちに戻らない。それどころか一向に終わりの見えない事故で対処のしようがない。	
	製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない為。	
	製造業(窯業・土石製品)	受注状況が悪い。	
	サービス業(広告業)	売上が減っても、税金、人件費…、経費は減らない。中小企業の未来は暗黒のまま。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	ゴルフ場	ごく最近では自粛ムードからぬけ出ている様です。
		製造業（鉄鋼業）	震災の復旧工事等で、今後共、作業需要は高い水準で続くと思う。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	ほぼ正常な状況に戻りつつあり、進出企業が本格的に稼働すれば、地域への波及効果が高まるのではないかと。
		農産物直売所	原発問題が落ち着いてくれれば、夏に向けてお客様も増えてくれると思います。そうなる事を願いたい！！
		洋食食堂	建設、土木関連のお客様が昼時を中心に利用されている。当分の間この流れが続くと思う。
		タクシー運転手	工場が復旧すれば徐々に売り上げも良くなると思う。
		ゴルフ場	ゴルフシーズンの時期でもあり、客の動きもよくなってくるかと思われるが、震災での自粛ムードもあり良くなるまではいかないかと思う。
	企業	製造業（食料品）	復興が進むにつれ大手企業も稼働してくると思いますので、景気は今よりは当然良くなると思う。雇用が安定し心理的に安定に向かえば、明るさは戻って来ると思います。心配なのは電気の使用・節電について考え、製品製造時間も深夜・早朝を中心に時間帯をずらさなければならず、人件費にも影響は出ると思う。課題は山積み。
		製造業（化学工業）	生産も開始され、供給も安定し、売上に繋がると思う。
		製造業（化学工業）	エネルギー不足等の不安はあるも、操業の目処が立ち、出荷も徐々に回復すると思われる。ただ、原材料の高騰に見合う価格転嫁は難しい状況にあり、物流関係を中心に、復旧費用が今後も見込まれることから、利益の確保は厳しい。
		運輸業（道路貨物運送業）	秋口(9月～10月頃)より出荷量が多くなると予測されているようです。
		保険業	今たばこ、いも、米、の苗の植付けがなされている。22年より少し高くなるみたい。
変わらない	家計	商店街代表者	今迄築かれた各産業の空洞化を放置したままでは景気は一向に良くなりません。未開発国並に転落してしまいます。輸出入についても各国の貸金指数にスライドさせた関税の微調整をただけでも景気は好転します。国内・地域産業の充実が商店街発展にも不可欠です。
		商店街代表者	震災の影響により無駄な出費をおさえる事は変わらないと思う。また、復興により工事関連が動きがあるが、一時的と感じています。
		コンビニエンスストア	定期修理については、9月頃まで期間中58万人の規模で実施される事が発表されており、3ヶ月先については今と変わらない状況にあると考えます。
		コンビニエンスストア	夏場は海行楽の減少、昨年の猛暑との比較で厳しい時期と思われますが、土日の祝日、休日以上に平日の動きでカバーすることで、現状の流れのまま推移すると判断する為。
		小売業（金物店）	落ち着きを取り戻しつつありますので普段と変わらないと思います。計画停電の影響もそうです。
		小売業（書店）	質問1、2の箇所にも記入致しましたが、未だ震災のツメ痕も残り、本来の姿に戻るのにはもう少し時間が必要かと。しかし、3か月経過すれば多少なりとも改善していくと思う。
		割烹料理店	神栖市は、震災で多大な被害を受けており、消費もひかえ気味で、飲食関係はこれ以上良くなることはないのでは。
		日本料理店	変わらないと言うよりわからないです・・・放射能がなくなれば少しは良くなるのでは？震災の影響で復興優先で動いていると思う。
		タクシー運転手	先般の震災・原発事故だけが原因ではないが、一般市民は節制・節約が基本である。タクシーを傘がわりに利用する市民がある反面、節約が基本である。ワンメーターくらいなら、歩くのである。いずれサービス業は、市民生活の向上が先決である。
		タクシー運転手	仕事がない。
	理・美容店	今のこの景気が続くかぎり、景気が上向きになる事はないと思う。消費税のUPがあるとますます景気が悪くなると思う。	
	住宅販売会社	現在の政治をみると、私利私欲ばかりしか感じられない、とても国民目線ではないこともつくづく露呈されている。とても景気回復を期待できない。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	購入価格の減少が止まらない。
建設業		政府の対応の機敏さが感じられない。消費者は、不安が大きければ景気の回復は望めない。また給料が安いのに消費税を上げればなおさらです。	
運輸業（道路貨物運送業）		夏場の消費電力の節電対策として、各メーカーの増産体制が続いている。秋口までその影響が続くと思われる。	

	不動産業	入居できる賃貸物件が激減してきています。仲介業者としては、物件がなくなると仕事にならない状況になるのではと心配もしておりますが、又新たな物件入手を試みる事が必要と思う。
雇用	人材派遣業	・景気回復と政治の正常化が急務。与野党を超えた震災復興計画の策定と国民の生活を重視した施策が講じられない限り期待は出来ません。
	公共職業安定所	新規事業の開設、事業拡大による求人募集が見受けられない状況があることから、あまり景気の拡大が見込まれるとは思わない。
	学校就職関係者	福島原発が落ち着かないと風評被害などで買い控えが続いて、景気を左右すると思うので。
家計	スーパー	アルバイトなどの仕事が無い声を聞く。災害の支出が多くなっている分、衣料品等の支出をおさえている。
	ショッピングセンター	福島第一原発事故の風評被害による、地元農家の収入減、津波による地元企業の被害も大きく、企業収益の先行き不安、ボーナス水準の押し下げ等、自粛ムードが続いており、消費マインドの本格的回復には相当の時間を要するものとみられる。
	観光型ホテル	宿泊予約状況を見ると、予約が伸びていない。
	パチンコ店	遊技人口が徐々に減少している。
	理・美容店	震災の影響も少しずつなくなるでしょうが、まだまだ景気は改善しないと思う。
	クリーニング店	業種によっては、瓦屋、土建、設備業は忙しい。でも被災者は先々に不安を持っているようです。二重のローンを組むようになってしまふ。り災証明届けを出してもかなりの出費があります。
	室内装飾業	近い将来、消費税が10%になるようだが、増税後ますます苦しい生活が更に続くと思う。だから大半の人たちは、先が見えない生活が心配で自己防衛に走るのではないかと思います。
	住宅販売会社	問2の回答通り。（震災による液状化の影響が大きく、景気回復はしばらく見込めない。）
企業	製造業（食料品）	全体的に消費が減少した影響もあり、自社で生産する得意先が多くなり、その上材料費（油、包装資材）も高騰しつつあり先行が不安です。
	製造業（食料品）	・多少震災の当時より落ちつき、購買力が増加すると思われるが心理的負担が足かせ。 ・風評被害が出てきている。（放射能）
	製造業（食品）	1.震災復旧工事が終了し、増加した工事代金の支払いがなくなり、一時的に増えた人口も震災以前に戻り、購買力が減る。 2.この地区に多いグラウンド付の民宿が震災のために7割方被害を受けており、利用者数が極端に減る見込み。また原子力風評により予約のキャンセルがほぼ100パーセントある。
	金融業	震災による地域経済への影響は大きく、復興支援が先決であることから、景気回復には時間を要すると思われる。
家計	スーパー	商品の供給もほぼ通常になり、また、同業種での価格競争が始まり、利益確保が困難になると思われる。
	家電販売店	7月24日の地上デジタル化（アナログ停止）により、テレビの売上ダウンが懸念されます。但し、今後は節電商品が売れていくと思われます。
	小売業（薬品店）	これから先、復興という意味で生活必需品を中心にお金を消費する傾向が、少しずつ強まると思う。被災地となったこの地でも、場所により被害の度合いがまるで違い先が読めない。
	観光型ホテル	原発事故の影響による。
	タクシー運転手	一般の客が地震の為、金をつかう事が少なくなって来たと思います。この先も不安と言う気持ちをもって居ると思います。
	ドライブイン	原発事故の風評被害が根絶されない限り不可能と思う。また、夏の大規模な節電などレジャーを楽しむ雰囲気ではない。
企業	農業関係者	土壌汚染の程度が不明な為、新たな作付けをする気になれない。
	建設業	原発が収まるまでそしてそれからしばらくかかると思います。
	サービス業	東日本大震災の影響で多くの業種で発注抑制となっているため、今年度特に上期はきびしいと思われる。
雇用	求人開拓員	質問2の理由に加え、今夏の電力供給不足による電力調整（計画停電の再実施の可能性も濃厚）により工場等の操業計画に影響を与える事が予想される為。又、一般消費者への節電の義務付け等により消費意欲の停滞が起こり景気についての負のスパイラル現象が進むと思われる為。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	建設業	3ヶ月先は今と変わらないと思う。震災による工事需要は1年は続くと思う。消費税の動きも気になるが。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	積極的なお勧め販売により、商品の価格を伝えることが出来ている店舗においては、高価値、高単価商品においても販売につなげることが出来ている。お客様へ情報を伝え、価値観を感じて頂くことが出来れば対価を支払うことへの抵抗感は無く、景気回復につながると感じている。	
		小売業（酒類）	震災後の復旧事業が、本格的になってくるので、やや良くなっていると思う。	
		小売業（化粧品）	震災の影響の生活から徐々に日常（平常時）に近づくと思われ、購買意欲も上向きになると思う。梅雨入りが早い分、開けも早くなれば夏用商品の売上に期待。	
		農産物直売所	震災の風評もおさまり、ゴルフ帰りのお客様が少しずつ増えました。ゴルフの帰りに新鮮な野菜をおみやげに持って帰ると奥様が喜ぶそうです。	
		和食食堂	地震直後から前年と同じまで売上が戻ったので、期待も込めて。	
		洋食食堂	現状は震災直後よりも悪いと言わざるえないが、これ以上の落ち込みは無いと思われる。ただ企業によっては、外に出られない社も増えたようで残念である。	
		理・美容店	今の流れが2年前と少し似ているのか、9月までにはいい流れを持續させたい。	
	企業	製造業（食料品）	希望的観測である。お中元で少しは物が動いてもらわないと本当に困ります。茨城県というだけで売れないなんて事のない様をお願いした。又夏休みやお盆休みで人の流れが良くなることを希望します。	
		製造業（飲料）	地震の復興が進んでいる。	
		製造業（窯業・土石製品）	道路等のインフラの復興整備により出荷は増えてくると思われる。	
		金融業	一部建設業、製造業においては震災復興に向けた受注増加が見られる為、震災により不足している材料等物流が正常化すれば景気回復の見込みがあると思われる。	
	雇用	求人広告	復興支援と節電(エコ)による、関連事業が活発になりそう。	
	変わらない	家計	スーパー	景気上昇の判断材料が見つからないので、変わらないと言える。
			スーパー	震災前まで実施していた曜日別特売を一時休止していた分、客離れを起こしてしまった。
スーパー			現在と比較すると変わらないと思う（前年と比較すると相当伸びています）。	
スーパー			客数が前年割れ傾向になって来ているが、客単価、要は買上率がアップして売上そのものが変化しない状況にあるため。	
コンビニエンスストア			仕事が増える要因が見つかりません。アルバイトやパートで働きたいという人が多い。	
農産物直売所			しばらくは変わらない様に思います。	
洋食食堂			大きな変化がないかぎりこのまま続くと思う。	
都市型ホテル			9月は、今のところは宴会・婚礼受注も安定してきているところから、景気はあまりかわらないと思う。宿泊は、まだ学会・ワークショップなどが受注できていないところから厳しい状況が見える。	
都市型ホテル			夏に向かってどうしても予約が減少して行く時期ではあるが、震災でひかえていた方の予約が入って来ており悪くはならない様に思える。	
タクシー運転手			3か月くらいでは変わらないので。	
タクシー運転手			土浦地区の飲み屋街も、震災にあった箇所が多く、閉店したお店も多く、今後、回復する見込がない為、3ヶ月先、あるいは1年以上景気はよくなると思わない。	
タクシー運転手			一時的な災害特需は終わりましたが、少しずつ飲食店や会社関係が動き始めましたが、まだまだ景気が良くなるとは思えません。	
ゴルフ場			今年の梅雨は早く入って明け一緒に聞くイコール梅雨が長いという事になる。雨が多いという事は風評による放射能の影響でキャンセルが多くなる事はさけられない。	
理・美容店			日常を早く取り戻そうと努力している・・・ただ、いらだちを覚えるのは、政治で、復興復旧のしつかりとした道すじを、早くに示してほしい！！	
建築設計事務所	リフォーム等の話はよく耳にするが、具体化しない。			
住宅販売会社	原発対策が長引くようだと、状況は悪くなる可能性もある。			
企業	農業関係者	原発の放射能問題で農家の予定が解消されていないと思うため。		
	製造業（食料品）	特別の変化がない限り悪い状態が続くと思います。		
	製造業（一般機械器具）	現在、特に景気よくなる材料が見当たらないため。		
	建設業	既存の改修工事はどこの企業（上場企業6社他取引先）でも動きが変わらず、もっぱら6月中旬以降から地震関連の発注が出てくるものと予想される見積りは3月下旬に提出している物件です。どこの企業でも本社の予算がつかないと弁解、僅かな金額でも発注せず我慢している様子を、6月に入って一斉に発注し始めて来ます、が量的には前年比と同じ。		

	建設業（設備工事業）	今の時期と変化はない様に思われる。	
	運輸業（倉庫業）	震災後の復旧が進んでいるため、保管等が震災前の状況に戻ると思われます。毎年暑い時期に入ると入庫が増える荷主もありますが、全体的に比較すると現状維持に近い状態になると思われるので、景気は変わらないと思われます。	
	雇用	計画停電等の影響が今後はある為。	
やや悪くなっている	商店街代表者	街並の中に震災を受け、ブルーシートの屋根が目立つ中、復旧、復興が進まない、消費者心理として、生活必需品以外の買物をする雰囲気とは、ほど遠いのが実態で、回復は期待できない。	
	専門スーパー	震災後の補修関連商品の動向も落ち着き、本来動向が上がるべき園芸用品・野菜苗・花壇苗等が、全体的に鈍い。放射能の影響もあるのだろうが、それ以外の商品も必要最小限に抑えている様子。	
	タクシー運転手	茨城県もおそらく1つとして良くなる理由が見えたらない。	
	代行運転手	失業率も増え、町全体に元気がない。リストラや給料をカットされる人も増えて来ている為。	
	ゴルフ場	原発の処置及び電力の供給状況が判然としないと、法人のゴルフコンペ等が開催しにくいと聞く。	
	レジャー施設	先行の見込がまったくあてにできない為。	
	ゲームセンター	前年売上をわずかに上回っているが、伸び率が下がって来ているため。	
企業	製造業（家具・装備品）	地震災害で古い街並の商店街には危険な所も多く、客足が遠のいて居るようです。私の商店街では閉店をする店もあり見通しは暗いです。	
	製造業（印刷業）	原発問題による、節電によりまだまだ景気は良くならないと思われる。	
	不動産業	この震災の影響がどの程度影響するか未知数であるが、やや悪くなると考えて用心は踏んでいる。落ちる部分があれば必ずこれに対応する対策案もあり下落するであろう分を店舗数の拡大、人員の増強、企業の収益源の拡大と30%UPの努力でカバーし実績を作るチャンスと思う。	
悪くなっている	家計	家電販売店	エコポイント需要も終わり、アナログ放送終了によるTVの買い替え需要も終わった事により、今後お客様へお買物を促進するアイテムが無い事から景気は悪くなっていると推測される。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	政治が総裁選で混乱しており、ますます予算執行の遅れが生じ、経営の方向性が決められない。
		製造業（非鉄金属）	節電15%に加えて、主力取引先の操業度が震災の影響から、ある部品の入荷厳しく操業率は50%以下を予定している。但し10月以降はフル操業の計画を予定しているため、ワークシェア、管理職以上の給与カットで(20%~37%)凌ぐ計画。非常に厳しい状況は9月まで続くものと予想される。
		建設業	今回の震災特需もひと息つき、平常に戻りつつあると思うが、新規に店舗・住宅などの建設の話もなく、建築資材の品薄感とコスト高により、景気は悪くなると思う。
雇用	求人开拓員	東日本大震災により、就職求人の減少が見込まれる。特に、製造業の求人が減少するであろう。	

(5) 県西地域 【先行き】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	就職相談員	東日本大震災の復興需要が、生産活動増、求人増につながると思う。
やや良くなっている	家計	鰻屋	夏に向け多少の変化が見られると思う。
		タクシー運転手	最近はずいぶん自粛ムードがなくなりつつあります。少しずつではありますが良くなっていくと思います。
		タクシー運転手	大地震後の復旧が各経済、医療、福祉の流れが元にもどってきそうなの。
		タクシー運転手	やや回復してきているがまだまだ以前には戻っていない。
		理・美容店	女性は美に対する欲望は強い。季節感覚を客にヘアスタイルをすすめている。技術の裏打ちがあるから出来ることと思う。
	企業	製造業（食料品）	徐々にではあるが、人の手配も進み、取引先の状態もおちつきつつあるので、少しずつではあるが売上も戻り始めている。但し、震災前の水準に戻るには早くても年内いっぱい、若しくは来春位までかかるのではないかと予想している。
		製造業（窯業・土石製品）	復興需要の本格化が見込まれる。
		製造業（金属製品）	自動車業界を中心に復興の兆しが見える。
		建設業	地震対策や地震災害復旧やエコ等の補助金部分の仕事が少しずつ増える気がしている、だが資材の高騰があり良くなるまでにはいかないかもしれない。
	雇用	人材派遣業	周りでは、復興に頑張っているように思う。
公共職業安定所		東日本大震災の影響で落ち込んだが、持ち直しているとの声もある。	
変わらない	家計	自動車販売店	東日本大震災の影響が長びくと思われ。消費税等あらゆる税金の見直しをしないと税金が回らない為、消費者の財布のひもは厳しくなります。今よりよくなることは、まずないと思います。
		農産物直売所	原発・政治が安定しないことには、変わらないと思います。
		和食食堂	当地域は震災の被害もさほど大きくなく、地震のダメージからは抜け出していると思いますが、原発事故の影響で茶葉の出荷制限がある等、地域に与える負の要素は当分続くと思われ、諸手を挙げての回復気分にはしばらくならないと思います。
		和食食堂	客足も戻りつつあるが今以上に良くなるとは思えない。
		都市型ホテル	予約状況を見てもあまり変化がないし、客単価も横ばいで変化がない。
		旅行代理店	原発の問題が終決しなければ、変わらないだろう。震災の被害があつて、その負担が大変だ。農家の人は、お米を作っても売れないのではないかと、心配している。
		ドライブイン	景気が改善される要因は何も見当たらず、福島原発の状況次第では更なる悪化も予想される。
		ゴルフ場	原発の動向次第であるが、予約状況から変化はないと思う。
		日本料理店	先行不透明。政治・政策が不安定。
		建築設計事務所	東日本大震災を受け、今後建築業界がどう動いていくのが全く予想付かない状況であり、景気回復は望めない。
	住宅販売会社	政府の対策をみていると、状況は変わらないと思われる。	
	企業	農業関係者	水田に作付けはしましたが米の販売に対して不透明な要因がみられるとの心配があり先が見えない。
		製造業（窯業・土石製品）	年内くらいまでは、東日本大震災の特需の仕事があると思いますので、3ヶ月先はまだ、石材業界に関する需用の復旧仕事はつづくと思います。ただし、この特需が来年以降マイナスとして、反動してくると心配しているのが現在の心境です。
製造業（一般機械器具）		お菓子関係の会社は同じ様です。自動車関係は仕事の内容がかわったが上完はかわらない。	
雇用	求人広告	夏場に向けての戦略的動きに対して、活発な動きがない。	
	学校就職関係者	夏季の節電の影響から、製造業の生産は、控えられることが予想される。しかし、その期間に保留されていた注文が、秋にかけて増加することが予想され、3カ月先には、現在の状況に戻っていると考える。	
やや	家計	スーパー	客単価が前年対比で98%、前月比でも98%と消費が縮小している。今後も消費に対して慎重な状況が続くと思われる。
		コンビニエンスストア	今後、経済全体の動きが省エネの影響、給与、ボーナスの減額などの影響で鈍くなってくる様に感じる。個人の所得が減ると、消費への影響は大きく最終的にはCVSなどの小売店に影響してくる。今は、まだその段階にはないが、今後少しずつその影響を受けて来る様に感じる。現在、それを打開する様な良い材料が見えてこない。
		コンビニエンスストア	政治的不安定による、子供手当の廃止や増税の話が多く出ており、必要最低限の買い物にとどまってしまう傾向が予想される。原発、放射能不安から、首都圏から東北方面への外出、行楽の減少も考えられる為。
		ガソリンスタンド	農産物の出荷自粛や低価格、工場などの節電などにより景気が上向くとは思えない。
		ゴルフ場	予約等の状況にて。

や 悪 く な っ て い る		ゲームセンター	震災以降、先行きが不透明。大きな変化がなければ悪くなっていくとしか思えない。
		レジャー施設	東日本大震災後、時が経過しイベント等の開催が実施され人の流れが期待できるが、まだまだ震災の影響があり厳しい状況にあると思う。
		理・美容店	東日本大震災の影響により、夏の電力不足を防ぐための計画的な電気使用などで昼間は外出を控えるなどするため、売上げにも多少影響があると思う。
	企業	製造業（食料品）	風評被害の継続及び電力削減による生産ラインの縮小。
		製造業（印刷・同関連業）	大震災特需がある建設関係や、中古車を東北方面のルートで売りさばく中古車を扱う車関係等は別として、各人、また各家庭が節約モードでお金を使わない。会社関係もフル稼働にはほど遠く（特に自動車生産＝部品製造も含む。）まわりまわって、すべてのものが動かない。
		製造業（化学工業）	一時的に日本製品の在庫確保で受注が増えたが、生産が安定したことで在庫調整局面が来る見通し。国内の自動車関連は低調のまま推移見通し。
		電気工事業	東日本大震災の復興の為に被災者優先となり、そちらへ国の予算も流されてはいけなから（しばらくは、比較的被害の少なかった地域は当然我慢して、復興に協力です）。
		金融業	業況好転中の業種は震災復旧関連の一部に限られ総体的にはやや低迷している状況。今後大手企業の生産体制についても多くの業種での設備損傷による減少が見込まれ、又、電力供給の制約等雇用情勢にも影響が予想され、消費意欲の改善も困難を来すものと思料される。
		不動産業	買い控えや借り控えの傾向がある。（従来のところにそのまま居住する方が多い）
		製造業（印刷・同関連業）	注文が入ってこない。
	サービス業（コンサルト業）	原発の影響が続くと思いますので風評被害が続き更に悪化するものと思います。	
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	（当店は、紳士・婦人服店です。）震災により、買いたい、買おうという気持ちがお客様にない。
		商店街代表者	東日本大震災以降良くなる要因が見つからない。3ヶ月後どうなるかと思うと気が滅入る。
		家電販売店	東日本大震災の影響により、家電商品の中に供給の悪い商品があり、売上がかなり低迷する事は避けられない。アナログ停波以降はテレビの販売台数も厳しくなる予兆。
		ビジネスホテル	当面、大きな変化は望めそうにもない。各企業さんの新しい動きが感じられず、年内はこの状態が続くのではないかとと思われる。
		ドライブイン	原発の終息がない限り、客足が茨城に戻ってこないのではないかと・・・。
		クリーニング店	衣替も終わっていると思われ、夏の天気しだいだと思うが・・・
	企業	製造業（印刷・同関連業）	原発事故の為、茨城の農産物が市場で買いたたかれているという。放射能の線量は、3.11以前の10倍近くあり、夏野菜、米がどうなるのか不安感がある。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	一日も早い原発の終焉を願います。
	商店街代表者	地元大手企業の関連工場の復旧工事に他県からさまざまな職人が出入りしている為、町内で他県ナンバーの車を多く見かける。ビジネスホテルもその影響でほぼ満杯の状態が続いており、地元の飲食業界も多少いそがしくなっているように思える。
	スーパー	節電についてのお客様の理解が深い＝節約風が吹いている。5月において来店する方の多くが早くもクールビズ体制。ワイシャツもクールビズ対応（ボタンダウンタイプ）。
	コンビニエンスストア	・スーパーの特売が依然少なく、価格差が少ないと感じる。 ・震災を受けて、全国的には「茨城県産」のイメージに問題もあったが、県内では茨城県産の商品や野菜の販売が良いと感じる。
	衣料品販売店	祝い事、年回などの行事が延期・中止があいついだ。
	小売業（工具）	インターネットによる購買に一服感があるのではないかと、頭打ちなのではないかと。特にBtoBにおいて一般消費財（BtoC）については今後とも増えるであろう。
	金物・荒物・建築資材	まだ災害後に通常の気持ちにもどれず、自分はゴルフが好きですが、まだプレーする気になれず（自分だけ遊んでいていいのか？災害に困っている人がいるのに！）に、いる。周りに自分と同じ様な人がいるので、景気も落ちこむと考える。
	小売業（酒類）	大手企業、電力需要の関係により夏（7～9月）の休日が平日となる。このことにより、街がどう変化するかわからない。
	小売業（水産物）	・他県ナンバーの車の激減の痛手は風評被害そのもの。水産物の小売業としては、先が大変不安である。 ・物価が値上りしている。
	小売業（靴製品）	・高額商品も売れるようになった。 ・低額商品と高額商品の2極化が進んでいる。
	レストラン	早く景気が上向きになってくれる様、祈りたいです。茨城元気、とがんばりましょう。
	和食食堂	東日本大震災以来、金銭の動きが冷え込んでいる。少しでも景気が持ち直せばよいと思うが、期待は出来ないと思う。なんとか頑張らないと、と売上増を考えている。
	民宿	東日本大震災により被害を受け、まだ営業再開出来ない店もあり、又、急いで修復して営業しても、原発事故によりお客様が見込めない、と言った理由から閉めているお店も多く町に活気がないように思われます。このような状況では、悪循環で益々景気も悪くなるように思われます。
	観光型ホテル	原発問題も含め、電力不足が日本経済に大きな影響を及ぼしている。
	旅行代理店	原発風評の沈下と余震の沈静化を期待するだけです。
	タクシー運転手	旅行、飲食店関係が減っている。
	タクシー運転手	夜の飲み屋の客がだいぶ減ったような気がする。
	タクシー運転手	震災後、節電や、いろんな意味での自粛、節約ムードが広がりご利用が少なくなっている気がする。
	タクシー運転手	これから夏場にかけて、電力がかかる事を想定して、地元企業も木・金を休みにして、土・日を出勤にする様であります。これにより、タクシーの利用がどの様になるのか、この3ヶ月は、今まで経験した事のないケースのため、非常に気になる所です。
	ドライブイン	消費を抑えがち。天気の良い日で、賑っているように見えても、客単価は非常に低い。がんばっぺ茨城。
	ゴルフ場	震災以後悪い流れが続いている。特徴的な動きは特にありません。
	ゴルフ場	①大震災の教訓として、ボランティア活動、復旧への動き活発。 ②何よりも健康第一、スポーツ等を通して健康づくりに努め、元気を出してこのピンチを乗り切る気運が高まりつつある。 ③リーダーの方々のゴルフへのみつめ方が元気になっている。etc
	レジャー施設	東日本大震災に伴う福島第一原発の事故の風評か、遠方（特に南方面）からの利用者、団体客が激減の状況であり、市内のサービス業全般に、お客様が減少しており、極めて重大な問題であると痛感しております。
	ゴルフ場	原子力の風評により首都圏来場が減り、コンペが少なくなっているため単価が上がらない。常磐道を利用しての茨城県北部の利用は、まだまだ敬遠される感がある。
理・美容店	身の回りでは相変わらずブルーシートのままの状態です。いつ復旧できるのか。あるお客さんは、屋根の修理を依頼しているが69番目で2年程かかるとの事。笑顔だけが救いで早く元通りになってほしい。	
クリーニング店	一般家庭での洗濯物を屋外に干す家庭が激減している。（屋外だと放射能が洗濯物に付くので）	
住宅販売会社	政府の対策に期待するしかないが、先行きが不安で仕方がない。	

企業	林業関係者	大きく変化的なものはないようですが、農家の方々も低迷状態であり、観光的な所はそうとうきびしくなっている状態である。個々も肅々と努力をし又、行政的なてこ入れも必要と感じる。
	水産業関係者	北茨城市大津町は今回の震災では、一番被害を受けた地域になり、未だにどの様に再生するか見当が付きません。漁協では、市場、製氷工場、船修理場、冷蔵庫に甚大な被害を受け、又、漁協事務所は津波にのみこまれ、ほとんどの書類が流されました。今後、復興には膨大な資金が必要となっております。国県市の助成が必要となっております。
	製造業（精密機器）	忙しいのと忙しくないのと、業界と発注先により差が出ている。
	製造業（一般機械器具）	7月～9月の節電対策により、土・日を出勤日とし、木・金を休日に振替えを実施することとした。
	製造業（電気機械器具）	特に原発事故の影響は甚大で、作業量も先行きが不透明です。
	製造業（電気機械器具）	震災の影響により、まだ継続的に半導体・その他電線等の入荷の先が見えない状況が続いています。現状、代替部品等を模索・検討し、お客様に迷惑をかけぬ様、努力しています。
	製造業（電気機械器具）	節電対応の商品の売れ行きが好調のようである。クールビズ関連の衣服の質が従来より向上しており、購入意欲をそそられる。数あるクールビズの中でも日本製品を購入し、微力ながら景気浮揚に貢献したい。
	製造業（電気機械器具）	東日本大震災の影響もあり、案件のキャンセルが出ているようです。一方では、復旧、復興の短納期作業の動きもあります。
	運輸業	茨城港・鹿島港とも震災で稼働状況はよくありませんが、東北の各港湾はもっとひどい状況なのでとりあえずこのあたりにも東北向けの積荷が一時的に集まっているように感じます。また、原発の影響でいわき以北や仙台への輸送は出来なくなったり困難になりました。国道6号線が使えないのは痛いです。
	金融業	東日本大震災の影響により市内飲食業者の大多数が什器、材料等に被災を受け営業を一時停止せざるをえない状況に陥ってしまった。その後、営業開始するも地元企業の従業員を対象としている為、需要が鈍化し現在も震災前の売上高には戻っていない状況にある。
不動産業	省電力の施策として、土日祝日が平日休日に移行。土日集客活動だけでなく、平日休日に対しても対応策が必要となっている。	
雇用	運輸附帯サービス業	メーカーが7月からの電力使用対策として、休日が木・金に変更となる。これに対する人員のやりくりで苦戦すると同時に時間外（休日労働）増となる。
	求人広告	県北は、非常にきびしい状況にあります。
	学校就業関係者	北茨城、高萩等はかなり震災の影響が出ている。
	求人開拓員	震災被災者求人が増えているが、本来の景気上昇における求人でないもので、一時的なものでしょう。（瓦礫の処理・家屋修理等の労働作業員の募集）

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	東日本大震災の被害を期に、廃業や閉店した店舗も見受けられる。震災が地域経済に及ぼした影響はかなり大きくこれから先が非常に心配。
	商店街代表者	7月1日、商店街で震災復興支援プレミアム商品券を発売します。10,000円で10%のプレミアムが付き、11,000円のお買い物が出来て好評です。10月中旬には、水戸市でもプレミアム商品券が初めて発売される予定です。発行総額4億4千万円で経済効果を期待しています。
	百貨店、総合スーパー	食料品は、日配品等を中心に好調に推移している。また、最近、カジュアルな紳士服等も需要が高い。
	スーパー	<ul style="list-style-type: none"> ・外食するお客様が、一時の少なさからは回復してきた。 ・弁当や、家庭での食事にボリュームがでてきていると思う。 ・特売品等は売れる。
	スーパー	お惣菜、酒の伸張があり、内食化がすすんでいると思います。外食回数が減っているのではないのでしょうか。
	スーパー	必要でないものを、なるべく買わない様にしている人が、多くみうけられる。
	コンビニエンスストア	安いものだけではなく、質と価格のバランスが重視されている。
	農産物直売所	駐車場の車のナンバーは県外ナンバーが大きく減少した。北関東道の栃木、宇都宮が今までは多かったが、ここ3ヶ月はほとんど見ない。観光バスの立ち寄り全くなし。
	専門スーパー	震災後の特需がありましたが、大分落ち着いてきました。
	スーパー	「絆」なのか？家族写真や親子ペアアクセスを求める方々が増えているようです。
	レストラン	東日本大震災の影響で、業種によって勝ち負けが大きいようです。
	レストラン	地産地消の動きがどんどん大きくなっています。地元の商品を使うことにより、茨城が元気になることを期待します。
	都市型ホテル	復興支援・義捐金・社会貢献等のワードには良い反応が見られます。
	観光型ホテル	営業セールスの報告では、県外のお客様は放射線が怖く東京より北は行きたくないといっている方が多い、特に茨城は被災県でありながら、メディアの取り上げが少なく現在どうなっているのかもわからないし、海岸線は特に放射線が怖く敬遠されているという。
	旅行代理店	震災影響は、法人関係より個人需要の低迷が目立つ。特に震災後、原発関係の影響が長びくものと思われる。
	タクシー運転手	震東日本大震災の影響で全体的に打撃が大きい。今後きびしい状況が続くと思う。
	タクシー運転手	東日本大震災の影響が大きく、特に原発の今後いかんによっては、かなり厳しいように思う。
	タクシー運転手	水戸駅の乗車が以前と比べて少ない。夜の大工町、飲食店の客がない。
	タクシー運転手	以前よりタクシー利用者はへっていると思う。夜の人出が少ない。高齢者の病院送迎が少ない。
	ドライブイン	サイフのひもは少しかたくなったかな？と思います。
	観光名所	夏合宿予定の学校の予約がキャンセルとなりました。理由は、今まで宿泊していた施設の休業（震災で）の為に、父兄から「福島に近く放射能の影響が心配」との声もあったそうです。風評被害には困っております。
	ゴルフ場	茨城以南のお客様の電話申し込みでは、原発事故の影響を心配して大洗へは行けないとハッキリ告げる人も見られる。早く原発事故が収束することを待っている状態です。
	レジャー施設	エコ商品や節約に意識が向上している。
	レジャー施設	入場者の減だけでなく、お土産品等の購入も控えていると感じられる。特に南からの来場者は激減傾向にあるため原発事故の影響と思われる。
	理・美容店	1000円カットがふえてきているので厳しい。カラーもメニューの中に入っているらしい。
	理・美容店	物価が高くなっているのでそこそこの人達は買わずにがまんをする。私もなるべく買わず、ある物はそれだけがまんをしています。（食品、雑貨、衣類）景気が悪くなる一方で良いコメントが書けなくなりました。
建築設計事務所	建築工事の現場は断熱材や便器の調達が困難である。	
住宅販売会社	東日本大震災によって建築を考え始めた方もいれば、震災によって契約をキャンセルするお客様もいる。	
企業	農業関係者	東日本大震災により離農を考える農家が一部出ている。
	製造業（食料品）	<ul style="list-style-type: none"> ・自販機2台被害有。 ・近隣公園にホームレス。 ・震災後に不審者が増えつつある。 ・施設防犯警備を強化予定。
	製造業（食料品）	JCOに続いて、2度目の放射能事故による風評被害で先が見えない。

企業	製造業（印刷・同関連業）	受注は伸びているものの原材料費の値上がり、電力の削減の影響は受ける。消費税のアップが検討されているという新聞記事もあり、利益の確保は容易ではない。
	製造業（一般機械器具）	リーマンショックが消えない。その途中の地震。何でこんなにもいじめられなければ（？）ならないのか。すべての業種がどうにもならない状態だと思います。何よりも原子力の方向が見えません。すべての業界が良くなるには原子力の動行だと思います。わかりやすくどうなるのか説明をしっかりと！
	製造業（精密機械器具）	OEM製品の引合い顧客先は中国、韓国が多数を占めています。これらの国における特定業種については、まだまだ設備投資が旺盛な様ですが、他の業種においても同様な傾向と思われる。
	建設業	東日本大震災による新たな消費で一様の経済増がみこまれる。
	運輸業（道路貨物運送業）	燃料価格が高止まりしており、これからも厳しいものがある。
	情報通信業（情報サービス業）	現在検討されている消費税の見直しに関し、個人消費面における購買意欲に火を点けるのか、或いは一層消費を冷やしてしまうのか、結構、話題として上がっております。
	金融業	震災復旧に関する資金需要は概ね一巡したものと思われる。事業所、一般個人等は、未だ震災の爪跡が残っているケースが多く、最近の市中の話題は「節電対策」であり、前向きな景気対策の話は聞かえて来ない。
サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地においては、厳しい経営環境に反し、空き店舗への新規出店が見られた。しかしながら、実態は店舗拡大などの前向きな出店ではなく、震災の影響で既存の店舗が使えなくなったことによる移転が多い。	
雇用	公共職業安定所	震災に伴う経済上の理由で休業を余儀なくされ、休業させている労働者の雇用の維持を図るため、特例措置の雇用調整助成金制度を活用する事業主が急増した。
	求人開拓員	震災後、卸・小売業において品不足が発生したが現在は充分潤っています。しかし、生活必需品の価格が高止まりの傾向にある。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	最近、国家公務員の知人が給与も頭打ちでは、お金を今迄の様に使えなくなって来た、と云って居りました。此の様な現況も消費の低迷に繋がり、地域を活性化する為の大きなマイナス要因です。ピンからキリ迄と言う言葉がありますが、日本の政治家が献金が入ってくる大企業、大組織ばかりでなくキリを大切に、中小企業、零細企業、地域農業にも重点を置けば豊かな税収のある国や、活気のある街造りが出来ると思われます。
	商店街代表者	震災後、被災された事業所あるいは被災の影響で営業が厳しい個人事業者の廃業が目立つ。特に経営者の高齢化、あるいは後継者難の事業者。
	商店街代表者	原綿（中国等）の価格が上り、タオル・綿製品が値上りして来ました。
	スーパー	原発による風評被害が、地域によって温度差があるようです。この地区の人たちは、あまり気にしていないようです。地物商品を、地方発送する件数も、前年、前々年とかかわらず増えています。今後の風評被害しだいで景気にも影響が出てくると思います。（今の所は最小限です）
	スーパー	・日替り品のみ、又、ガソリンを使ってまで遠出をせず、近場で用を済ませる。 ・メモをして来て必要な物以外は買わない、なるべく外食はおさえるようにしている。
	コンビニエンスストア	物価の上昇もあって、価格的な価値観へより比重が高まっている。値頃感のある商品が売れていてC V Sとしては手軽さもあって物販が好調に推移している。
	家電販売店	お客様の節電に対する意識が上ってきており、節電・省エネ商品の売上が伸びています。
	小売業（酒類）	ビールメーカー各社、工場の被災、資材不足等の理由でフルラインナップの製造ができていない。
	小売業（金物店）	東日本大震災に関係した工事が多くなっています。
	小売業（書店）	夜間（21：00以降）の客数が減少。客数減だが客単価は今まで通り。震災以降は客数が減少しているため、状況厳しい。
	ショッピングセンター	東日本大震災、福島第一原発事故の風評被害により旅行のキャンセルが目立っており、旅行関連業者は営業面に苦戦している状況。
	洋食食堂	・節電等で照明を少し暗くしているが、さすがにお客様からクレーム等はない。 ・再生に向けての動きが活発になっている。 ・旧市街地の商店街に関しては、被害の程度が甚大で廃業する店舗が出ている。 ・当地は農業の街だが、風評被害で見通しが悪い。解決の道は遥か遠く、町の経済への影響も計り知れない。
	割烹料理店	東日本大震災の関係で、建設業は忙しいようだが、それが景気につながるかは、わからない。
	日本料理店	大工さんや井戸屋、スーパーなどはよく動いているように見られます。
	観光型ホテル	震災以来、特に小・中・高校生の宿泊合宿予約のキャンセルがあいついでいる。3月の春休み、ゴールデンウィーク、また夏休みに関しても父兄よりの余震、放射能、水に関しての細かい問い合わせがある。
	タクシー運転手	自分も震災に少しあいましたので、震災にあわれた方は大変だと思います。
	タクシー運転手	鹿行地区にコンビナートあり。定修時期もあり、企業努力が感じられる。詳細はわからないが、鹿島共同発電、住金の北側にあり。最近、タクシー客が多い。いわずもがな、それで業界の景気回復になる訳ではない。
	ドライブイン	不景気に追い打ちをかけて東日本大震災により被災しているため、国民が余暇を楽しむようになり、観光業界が潤うには相当な時間がかかると思う。
	ゴルフ場	一時的に比べればだいぶ入場者も増加してきてはいるが、地元のお客様はそんなに増えてはいない。未だ震災の影響があるのではないかと思われる。
	理・美容店	東日本大震災で家がかたむいたお客様が多く、精神的にも物理的にもたちなおるのにかなりの時間がかかりそうです。そのため、私どものようなサービス産業は今後、かなりの売上げ低下が見込まれると思います。
クリーニング店	夏に向かって、消費電力を考えるようになってきている。以前より外食など控え、弁当を持っていく人が増えている。質素になっている。	
住宅販売会社	東日本大震災が与えた影響が大きすぎて、生活そのものの根幹から見直しが求められている。震災前の生活を取り戻すには、しばらく時間が掛かりそうです。	
企業	農業関係者	J A から斡旋を受けた中国人研修生が多数帰国してしまい出荷最盛期となったメロン農家が悲鳴を上げている。
	製造業（食料品）	・個人消費の低調。 ・人の動き（旅行等）がない。

企業	製造業（食料品）	復興が進んでも、外国人は地震・放射能の影響なのか母国へ退去したまま、戻らず多少なりとも景気の回復にも響くと思う。
	製造業（食料品）	復旧作業にかかわる作業員の宿泊でホテルの稼働率はほぼ100パーセントだが、ホテル内の飲食はそれほど、伸びていないとのこと。飲食については節約モードが依然としてあるようだ。
	団体	ガソリン、灯油、電気等々の値上がりが見込まれ景気を圧迫するように思います。
	製造業（化学工業）	需要や原燃料の動向は不透明であり、今後の操業維持には、やはり不安を感じる。
	建設業	茨城県内の人が県内の作物を買わないのはおかしいです。まして市町村の給食も県外？活気を取り戻す努力をすべし。
	製造業（鉄鋼業）	全体的に自粛モードが高まっていると思う。
	建設業	景気が悪いので客の出入りが悪いみたいです。ファミレスを除く、レストラン、居酒屋、ラーメン屋、料亭、建設業、土木屋、農業、スナック。
	運輸業（道路貨物運送業）	<ul style="list-style-type: none"> ・東北ばかりでなく、茨城でも多くの同業社の被災の話を聞いている。極めて、残念な事である。 ・各地域での企業及び個人の協力体制を地道に進めていかねばならない。
	金融業	断水による地域の停滞はあらゆる業種に影響し、資金繰りも厳しい状況にあり相談も多い。
	保険業	建設機械のリース会社は前年までは4月5月は出なかったが今年は100台中90%出ていて忙しい。
	不動産業	H23. 3. 11東日本大震災！！私の住んでいる地域も液状化現象の被害に遭いました。しかしながら震災1ヶ月後くらいから修繕の為の業者が街に多くみられ、人が集まるとい事は、街に活気がでて良いと思います。
	サービス業	北関東自動車道が全通したが物流はふえていないように思われる。効果が出るのは震災による低迷から立ち上がった後だと思う。
雇用	学校就職関係者	スーパーなどで、野菜が売れ残っている気がする。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	余震、原発が収まる見通しが見えない中、節電という重しで、自由度が強制的に奪われ、企業は海外へと生産シフトし、経済活動が停滞すれば、収入にも影を落とし、消費にも回りづらくなり景気には悪く先が暗い。
	スーパー	震災直後に売れていた保存食品の買い控えがある。特に買いだめした物があるのか飲料の売上が最近落ちている。
	スーパー	震災以来、午前中の客数が増えた一方、夜間の売上が激減した。夜間の飲食店のお客数が減っている。
	スーパー	東日本大震災からの特需も4月で終わり、又メーカーも徐々に以前の納品が可能になってきたが、まだ一部納品数量が揃わない物もある。
	スーパー	客数が前年割れ傾向にあるが、来店頻度が変化しているように思える。近隣のお客様の1日複数回の来店の減少や、ガソリン代節約から週間来店頻度を下げている傾向があるように見える。
	コンビニエンスストア	女性で働く人は増え続けている。しかし、若者で仕事を持っていない人が多く思える。
	小売業（化粧品）	雨の日は来店客が3月（震災）前と比べて減少。（放射線を含む雨の警戒かも）
	農産物直売所	私共のお店は地域住民の台所になっております。毎日買い物に来てくださるお客様リピーターが多い。お店のポイントカードを持っているお客様が96%くらいもっている、又、レジ袋（エコ袋）もほとんどの人が持参していることから地元のお客様かな？と思います。
	専門スーパー	日用品等の生活必需品の買上げ点数は落ちていないが、単価が落ちてきているは極力出費を抑える為なのか？
	和食食堂	通勤路でも閉める店が多い。逆に言えば売れているところと売れていないところの差があるということだと思います。
	洋食食堂	至る所で復旧工事が進められているが廃業された店や更地になった場所が目立つのが今後も心配である。
	寿司店	消費税、東京電力等、段階的値上げの話聞きます。この時期にあまりいいニュースではありませんね。
	都市型ホテル	現在ではレストランの顧客も戻り、定例宴会の開催の受注もあり、震災で日延べの婚礼の施工などまた、近隣開催イベントも予定通り開催（土浦花火大会・まつりつくば）するなど明るい話題もすこしずつ出てきている。一方、雇用の確保ができなかった企業、所得の減少の話も営業先ではでているので、個人消費含めまだまだ厳しい状況が強いられる。
	タクシー運転手	送迎バスを使っている会社が、夏の3ヶ月は、土日出勤で対応して下さいと連絡が入った。
	タクシー運転手	震災後に多少購買意欲が出てくるかと思いましたが、そうでもなく感じます。
	タクシー運転手	あらゆるサービス業に於いて、景気は悪化していると思います。
	代行運転手	同じ業種の人たちは、どこも駄目です。他の業界でアルバイトをする人達が増えて来ています。
	ゴルフ場	今後の経済情勢が、どのようになるか（復興計画を含め）により、法人・個人ともに不安感を表わす方が多い。ここに来て、政治状況の不安定さも気に留める方が増えた。
	ゴルフ場	自粛ムードも少しずつ回復しつつあるが、それは相反する様に原発の悪風評が出て来ている。この先どうなるか大変不安である。
	ゲームセンター	近隣にリサイクルショップが新規でオープンしたが、お客様が入っている様子はない。また店舗裏にあるビデオ販売店も完全閉店してしまった。当店の売上也伸び悩んでいる事を考えるとお客様の財布の紐は固く今後も厳しいと思われる。
	理・美容店	政治家の人たちの行動に、いかり、落胆を感じる。同じ人間なのか！今一番困っている人たちの気持ちになって働いてほしいです！
	理・美容店	<ul style="list-style-type: none"> ・どこのサロンも少しずつ上がってきているとのことなので、楽しみ。 ・お客様も仕事が増え来店サイクルに変化もみえる。 ・夏ぐらいが一番危険な気がします。注意しています。
	建築設計事務所	やはり震災後についての話が多く聞かれる。
住宅販売会社	住宅特需と言われているが、震災によるキャンセルもあり、言われているほど需要が伸びている訳ではない。	
	製造業（家具・装備品）	東日本大震災で仕事にありついた業種の方も先行の不安をかくせないようです。小さな町(市)ですが完全にリズム（経済の）がくずれました。

企業	製造業（食料品）	4月25日から5月22日迄観光施設に出店しましたが、ゴールデンウィーク期間中の入場者数が前年比32%との事でした。したがって売上も約1/3でした。商売としては成り立ちませんでした。茨城県も放射能の影響がかなり出ています。原発を早く収束させてほしい。このまま続けば茨城県産のものは全て終わってしましましょう。
	製造業（食料品）	震災後、原発の放射能の影響が大きく売り上げに影響しており、原料仕入れについても放射能の含有が心配。
	製造業（窯業・土石製品）	電力不足に対する対策で各社でんてこ舞いしていると思いますが、経済活動、社会活動に与える影響は大きいので政治がもっとリーダーシップをとって欲しい。クールビズと称して、ネクタイをはずして背広を着ている姿をよく見かけますが、まず背広をぬぐのが、先ではないでしょうか。また、「今日の会合はクールビズをお願いします。」の案内がありますが、個人の自由ではないでしょうか。
	製造業（窯業・土石製品）	東日本大震災以降、レジャーやイベントの自粛が相次ぎ消費が落ち込んでいる。
	製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーの部品調達について、今回の震災を機にリスク回避から海外へのシフトが進む。現在、海外調達予定部品のコスト低減要請を受けている。
	建設業	6月に入って東京方面の営業より、6月に入っても大口の物件は予算も取りにくい、が、小口は出しますよと言ってくれています。当社は入梅に関係ありません。震災以外の新規工事が出ません。しばらく様子を見ると言っています。但し、土地の売買が少しずつ動き始めて来ています。5月で私の知人より5件仲介したようです。平均に動き始めて来ているとの説明有り。
	建設業	東北の方が仕事はあと10年あるというので、東北に行ってしまった会社がある。
	建設業	震災後、急激に建物の修繕資材及び職人が不足していたが、徐々にどちらも改善しつつある。ただし、今後の見通しを持って計画的に仕事をしているというよりも、一時の忙しさのようだ。口々に、先行きの不安、それも2~3ヶ月先の見通しもない職人も多い。
	金融業	震災復興に向けた受注増加が期待される中、受注できる企業とできない企業とに格差が生じてきているように思われる為、景気回復に反し倒産する企業もでてくるのではとの懸念もある。
	不動産業	上記に書いた様に現在の日本の政治世界から見た日本の経済力の問題、若い人を含めた国力(働かない考えない努力しない等)等今回を契機に吹き出したと思われる。ここ正念場として職業人(プロ)として頑張った企業・個人に顧客の厳しい視線は判断してくれると思う。
雇用	人材派遣業	7月からの計画停電(節電)に企業での対応が迫られる。(週末・土・日での稼働等)
	学校就職関係者	震災後の買いだめがあり、生活日用品はストックを利用するなどしているため消費が鈍いものもあるようだが水など、一部商品に関してはまだ需要が伸びているようだ。全体的に自粛ムードもあり、エコな生活が見直されることで物のリサイクルや、買い控え、家庭での節電・節約が進んでいるように見える。 しかし、地震被害による住宅の修理や家電製品の買い替えなど、大きな金額の動いている要素があり、全体としては経済活動が活発化しているように見える。
	求人開拓員	就活スキルアップセミナーは、民間を含め、多数あり(乱立)、県の減少が大きい。来店者(求職者)の減少が大きい。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	(震災により) 風評も含め、必要な物しか買わない、使わない。安い物に集客してしまう。自粛はやめて、せめて金銭の流通がスムーズに行くような対策を取ってもらいたいです。
	商店街代表者	当店は年配者のお客が多いので今まではお勧めした商品も「プレゼント用に」と買っていき事が多かったが、財布の紐が固くなった感あり!
	時計販売店	景気が冷え込んでいる業種がある一方で建設・建築業界等は忙しいそうなので、業種、業界によって景気が分かれている印象があります。
	スーパー	店舗休日前の売り尽くしセールの際にも、どんなに安くても衝動買いをしない。(以前ならば、最終の値下げに対してあっという間に売れていたが、今は慎重に商品を選ばれるお客が多い)
	コンビニエンスストア	守谷市については継続して一戸建ての建設、企業の進出など町の発展が見られる。県西地域においてもかなり地域によって町の勢いに格差がある様に感じる。その地域毎の対応がとても重要に今後なってくる様に感じる。
	家電販売店	震災以降、節電に対する意識が非常に高くなっています。当然ながら、エアコンの使用を少なくする為に扇風機が昨年の5倍以上売れている。
	自動車販売店	節電実施の為、多くの商店などが、電灯を消している為(夜) お客の数は減っていると思います。ただ、これから復興事業がすすむ為、仕事量の増える会社も多々あると思います。
	農産物直売所	震災以降減少していたお客が6月に入り、もどってきています。
	ガソリンスタンド	軽自動車、ハイブリッドカーなど低燃費車が増えている。
	和食食堂	今年の新米に放射能の影響が出ないか、また、それを見越して現在流通している米の買い占めが行われないか(その為、価格が高騰してしまわないか) が良く話題になっています。
	鰻屋	車の動きが多く物販がよくなりつつあると思っている。又3、4月に観光バスの動きが無かったがこれからは良くなると思う。
	都市型ホテル	レストランでのディナーのお客の来館が減っている。団体での利用も少なくなってきた。
	旅行代理店	石油やガソリンなど値上げしたまま、値下げになっていない。他の製品も高値である。野菜も高値が続いている。スーパーにも、買い物客が少ない様です。政府の景気対策が急務ではないか。公共事業をたくさん出してほしい。
	ビジネスホテル	花火大会やお祭など自粛のムードから通常モードになった。
	タクシー運転手	特に気になるのは、生活弱者のお年寄の事です。近くにお店がないためタクシーを使い病院へいくのもタクシーという方がふえている様に思います。一人暮らしの方で若い人が周りにいない為だと思われる。
	タクシー運転手	上記でのべたように地震後の復旧が人の流れをもとに戻してきた。又、自粛ムードがなくなって来て、人々の外出が増えてきた。
	タクシー運転手	代行が多いためタクシー利用が少なくなっている。代行の料金が安いとの事です。(代行の料金が会社が多い為値のダンピングの競争が多く料金の取締も陸運事務所で調べてもらいたいと思う。
	ドライブイン	産直のお客の声は2通り。「放射能残留検査やってるのか!!」「茨城県産以外を買いたい」と言う人がいる一方、「茨城県産を積極的に買っている」「風評被害に負けず頑張ってください」と声をかけてくれる方もいます。
	ゴルフ場	放射能汚染、過剰報道による風評被害等、野菜、お茶農家への影響は大であり、今後の生活に不安を残している声が大。
	日本料理店	大都市や大型施設等には集客がある様に思える。地方や個人店は苦戦!
ゲームセンター	いまだに道路補修が進んでいない所もあり、休日に出かける時も確認してからではないととなるので、外出をひかえてしまう人が多いように感じる。	
レジャー施設	企業が活性化していない。耳にするのは良くない話が多い、経済の活性化には時間がかかると思う。	
理・美容店	暑さ対策の衣料が売れている。季節の変化を敏感に感じるとる商品に関心があるみたい。	
理・美容店	震災後、節約しようという傾向が見られる。	
クリーニング店	震災以来、節電や自粛が多く、お金を出し渋っている気がします。被災地や復興への気持ちを持っている人々が多いので、もっともっとイベントなどを多く手掛けた方が経済がまわるのでは・・・?	
住宅販売会社	原発対策をしっかり行ない、みんなが安心して生活できるようにならないと、景気の向上は望めない。	
企業	農業関係者	風評被害がおさまりつつある。
	農業関係者	不安が多く、災害の修繕に費用がかさみ、窓口において貯金をさげまずは修繕に対応することでほかのことを考えていない方が多い。

企業	製造業（食料品）	東日本大震災により職を失うような方がふえていると思っていましたが震災直後はかなり求職活動をされている方が多かったが最近同じ求人を出したところ日本人の求職者は1週間で一人もいませんでした。少し状況が変わってきたかなと思っています。
	製造業（食料品）	個人々々で節電を意識しているからか、会社の電力消費量が自然に減った。又、LED電球に代表されるが省エネ家電に対して関心が高い。
	製造業（印刷・同関連業）	5月に入って自粛ムードもいかなものか！と思う人達がものを云うようになってきた。隅田川の火花大会も日付こそ遅れたが、8月下旬開催が決定した。これからは各地域で自粛ムードが少しずつでも解消され、祭りや各種イベントが復活すれば、景気も好転すると期待したい。
	製造業（化学工業）	顧客からの問合せが「震災による影響」から「電力規制による影響」へ変わってきている。本来の景気とは別な要因で景気(受注)が左右されて変動している局面がある。
	製造業（窯業・土石製品）	震災後の各種活動の自粛が経済を停滞させない様「旺盛な経済活動が復興の支援に役立つ」という方向にみんなの考えが変われば良いと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	東日本大震災による特需は「国内需」であって、被災をした方が損をし、復旧に関わった業者、人が得するだけのことで、日本全体を考えれば大きな「マイナス」でしかありません。日本の成長率は下がります。日本は「加工貿易立国」ですから、成長を「外需」に求めなければ、明日の日本はあり得ません。原子力産業を日本の成長戦略として「見直す」ことに私は賛成できません。今まで以上に推進すべきです。今回の大震災を教訓に新たな技術革新を模索すべきです。これが人間の文明です。
	製造業（金属製品）	同業他社との間で、仕事の“受注合戦”の様子が見られ、非常識なコスト競争が行われている。
	建設業	高齢化社会や原発の風評や今もある地震等や税金値上げと景気が良くなる要因が全く見られない現状で建設業、農業、小売業、その他後継者が出来ず廃業が少しずつあります。
	電気工事業	◎時間外労働が少ないのでは。午後5時過ぎは、一斉に帰宅へと車が出ています。 ◎材料を手配して、今まで以上に納期がかかる品物がでてきている。
	金融業	・不況業種であった屋根工事業に於いては、震災後受注増加があり業況好転中。 ・東日本大震災による影響により大型レジャーブールの今夏集客増加が見込まれている。 ・近隣ショッピングセンターに於いて休日の集客数が増加中、遠出を控えて近場志向に動きが見られる。
不動産業	生活保護の方が非常に増えている。	
サービス業（コンサルタント業）	地震で建物等に被害が出ています、そのような建物等の修繕をする業者が若干忙しくなっているようです。	
雇用	人材派遣業	地震で、在庫がなくなり、住宅、菓子等の製造会社が、いそがしくなっている。
	公共職業安定所	サービス業等人相手の業種は施設の破損等で仕事が出来なかった事業所もあった。
	学校就職関係者	工作機械等の納品が、注文から3ヶ月以上かかることもあるようになった。被災地域の工場の操業停止等による構成部品の不足が原因とのことであった。
	就職相談員	昨年度は、月々、就職相談の来所者が減っていたが、今年度は5月後半から、新規相談者が増えて来ている。